

令和5年度

会津若松市 子ども・子育て支援事業計画策
定に係るニーズ調査の報告

目次

第1章 調査の概要.....	1
1. 調査目的	1
2. 調査対象	1
3. 調査設計	1
4. 回収結果	1
5. 注意事項	1
第2章 調査結果（中学生及び高校生）	3
1. 住まいの地区（地域）	3
2. 性別	4
3. 家族構成	4
4. 気軽に相談できる人（場所）の有無	5
5. 気軽に相談できる先	6
6. 【過ごし方】平日の放課後	8
7. 【過ごし方】学校が休みの日	10
8. 【勉強する場所】平日の放課後	12
9. 【勉強する場所】学校が休みの日	13
10. 【居場所への満足度】平日の放課後	14
11. 【居場所への満足度】学校が休みの日	15
12. 【自分の周りがあるとよい場所】平日の放課後	16
13. 【自分の周りがあるとよい場所】学校が休みの日	17
14. 【居場所があるとよい機能・サービス】平日の放課後	18
15. 【居場所があるとよい機能・サービス】学校が休みの日	20
16. 会津若松市に住むことについて	22
17. 会津若松市に住みたい理由	23
18. 会津若松市に戻りたくない理由	25
19. 平日の放課後や学校が休みの日の居場所づくりへの意見（一部抜粋）	27

第1章 調査の概要

1. 調査目的

会津若松市内の子ども・子育て支援に関する現状と課題の把握を行い、次期子ども・子育て支援事業計画を策定するにあたっての基礎資料作成を目的とする。

2. 調査対象

令和6年1月時点において、会津若松市に通学する中学生及び高校生について、次のとおり対象とした。

(1) 中学生及び高校生 1,464 件

3. 調査設計

(1) 調査方法 学校を通じての配付。WEB または学校を通じての回収。

(2) 調査期間 令和6年1月～令和6年3月

(3) 調査機関 一般社団法人 AIZU GATE

4. 回収結果

本調査の回収結果は次のとおり。回収件数及び回収率は、各調査における調査票自体の件数及び対象数に占める割合を示している。

(1) 中学生および高校生

回収件数 1,178 件／回収率 80.5%

5. 注意事項

(1) 図表中の「N」(Number of cases の略) は、設問に対する回答者の総数を示しており、回答者の構成比(%)を算出するための基数となる。

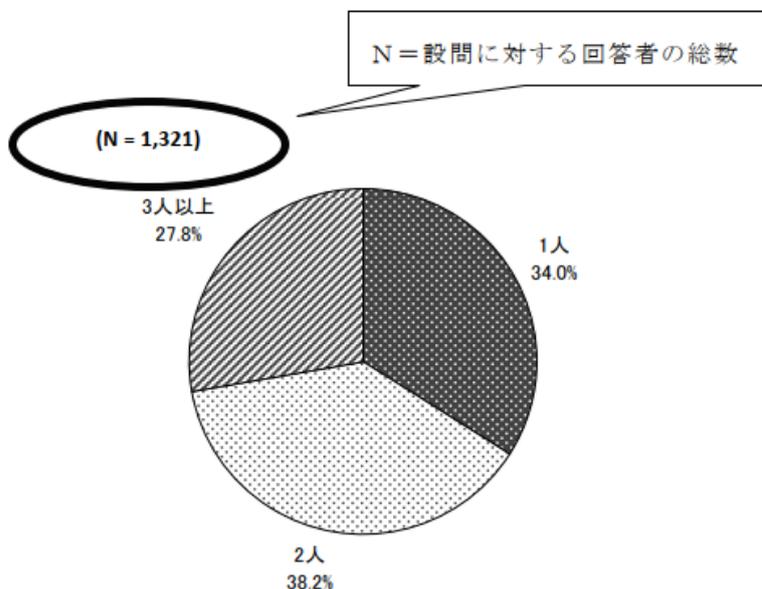
(2) 図表中の構成比は、小数点第2位以下を四捨五入している。そのため、合計した値が100%にならない場合がある。

(3) 複数回答の設問についても、設問に対する回答者の総数(=当該設問全体の回答件数)を基数(N)とし、各選択肢を回答した件数の割合を算出している。回答は2つ以上ありうるため、合計は100%を超えることがある。

(4) 各設問において、特に記載のない限り無回答は除外して集計している。

【例：「N」について】

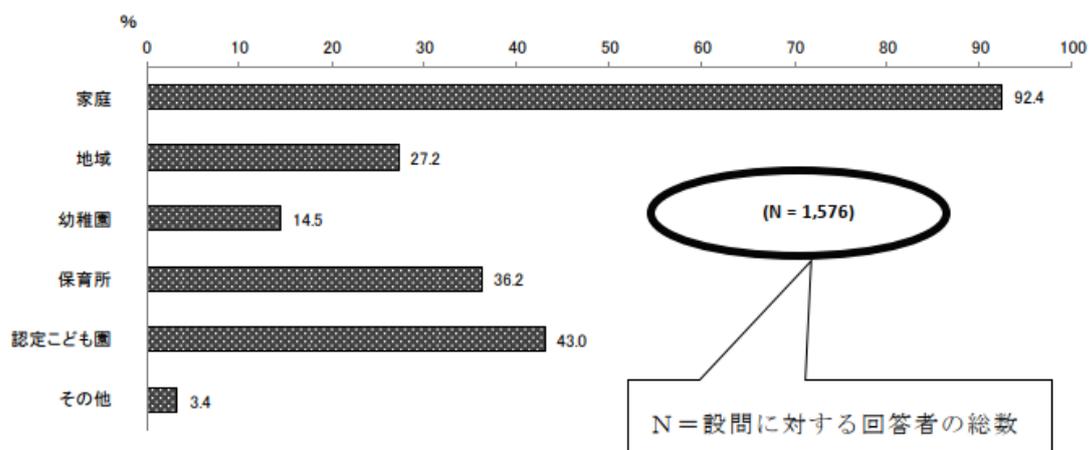
図表中の「N」(Number of cases の略) は、設問に対する回答者の総数を示しており、回答者の構成比 (%) を算出するための基数となる。



【例：複数回答の設問について】

複数回答の設問について、当該設問全体の回答件数を基数 (N) とし、各選択肢を回答した件数の割合を算出している。

例えば、下記のグラフにおいて、回答者 1,576 人のうちの 92.4% (1,457 人) が「家庭」と回答したことを示している。複数回答を可としているため、各選択肢において回答者の重複がありうる。

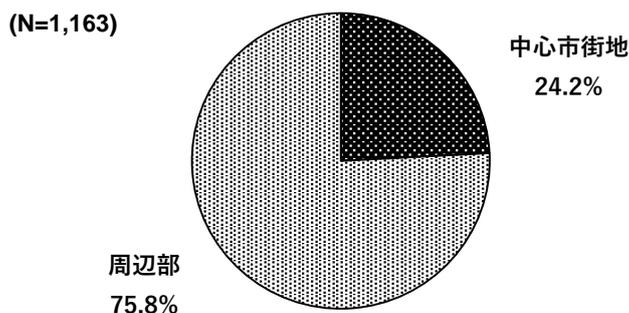
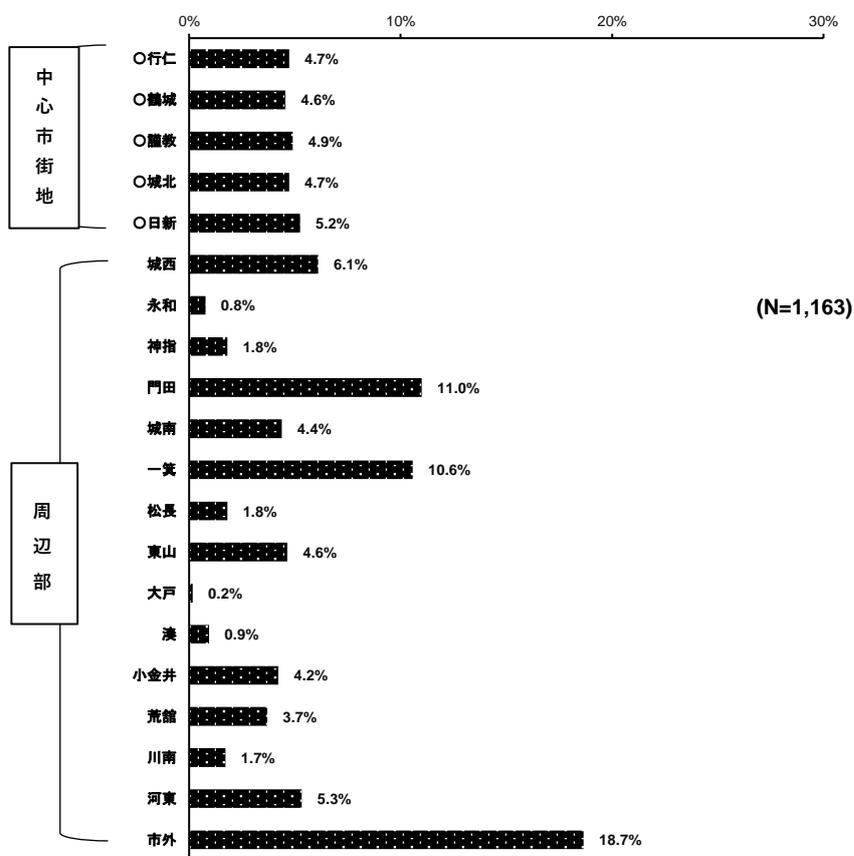


第2章 調査結果（中学生及び高校生）

1. 住まいの地区（地域）

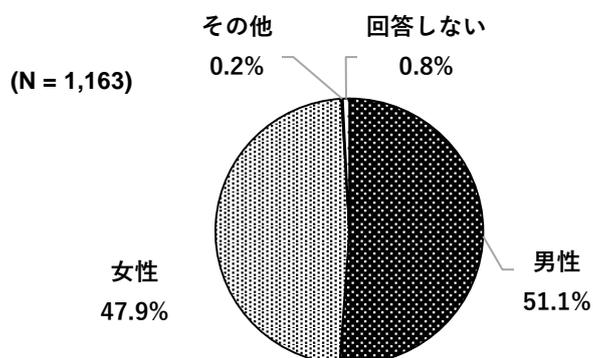
「市外」が18.7%と最も高く、次いで「門田」が11.0%、「一箕」が10.6%となっている。
 なお、「中心市街地」は24.2%、「周辺部」は75.8%であった。

(※) 本章において、グラフ中の地区名に○のある、城北・行仁・日新・謹教・鶴城地区を「中心市街地」とし、それ以外を「周辺部」として集計している。



2. 性別

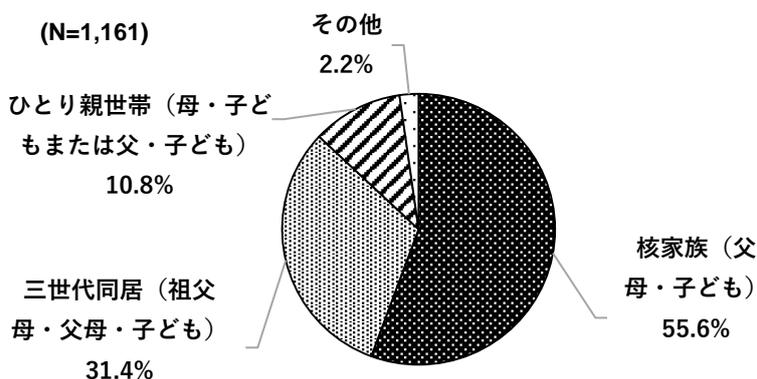
「男性」は51.1%、「女性」は47.9%、「その他」は0.2%、「回答しない」は0.8%であった。



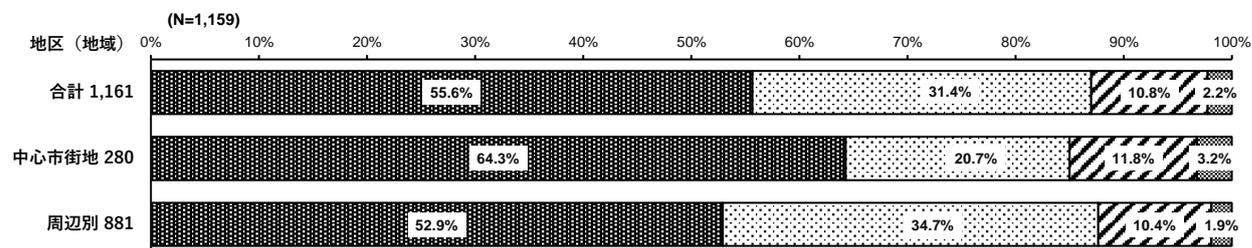
3. 家族構成

「核家族（父母・子ども）」が55.6%と最も高く、次いで「三世帯同居（祖父母・父母・子ども）」が31.4%、「ひとり親世帯（母・子ども又は父・子ども）」が10.8%となっている。

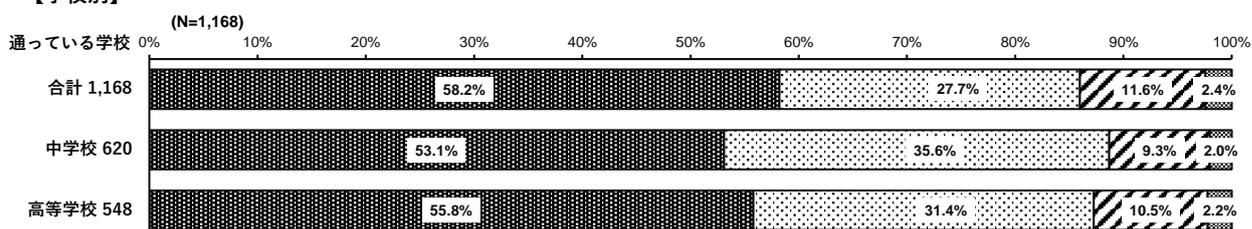
地区別にみたととき、中心市街地において「核家族（父母・子ども）」の割合が多く、6割を超えており、「三世帯同居（祖父母・父母・子ども）」の割合は2割ほどにとどまっている。



【地区別】 ■核家族（父母・子ども） □三世帯同居（祖父母・父母・子ども） ▨ひとり親世帯（母・子どもまたは父・子ども） ▩その他



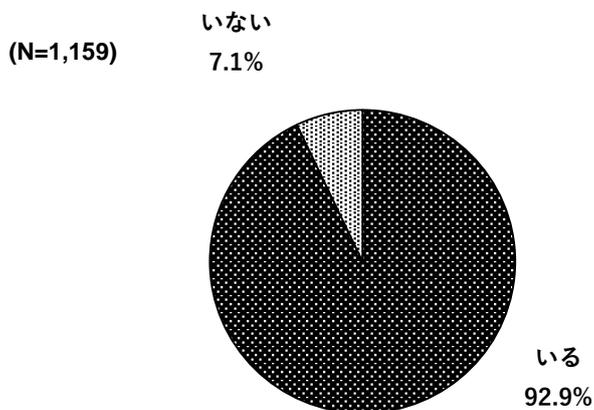
【学校別】 ■核家族（父母・子ども） □三世帯同居（祖父母・父母・子ども） ▨ひとり親世帯（母・子どもまたは父・子ども） ▩その他



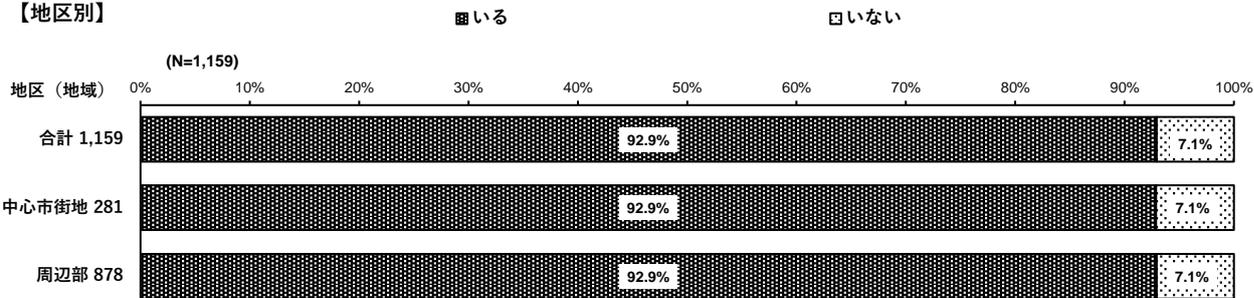
4. 気軽に相談できる人（場所）の有無

「いる」は92.9%、「いない」は7.1%であった。

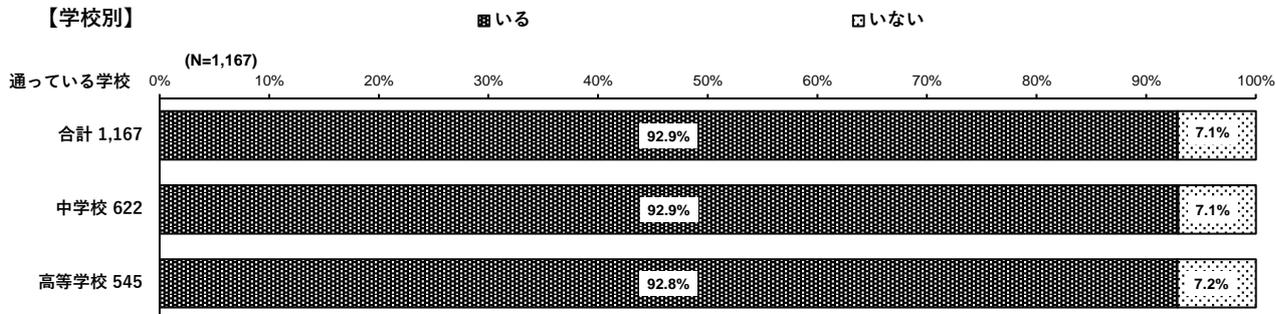
地区別にみたとき「中心市街地」と「周辺部」は92.9%と同じ割合であった。学校別にみたとき「中学校」と「高校生」の割合もほぼ同じであり、家族構成別においてもほぼ同じ割合であった。



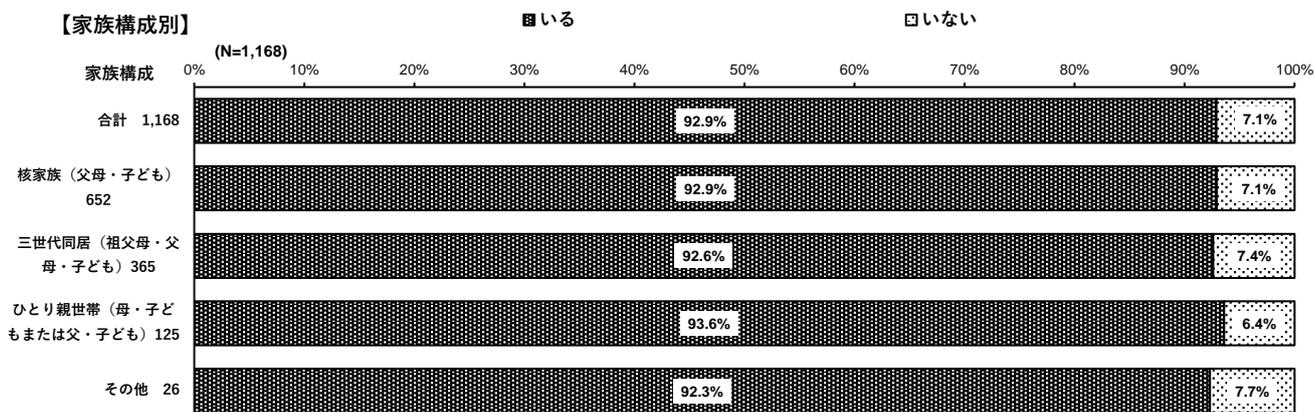
【地区別】



【学校別】

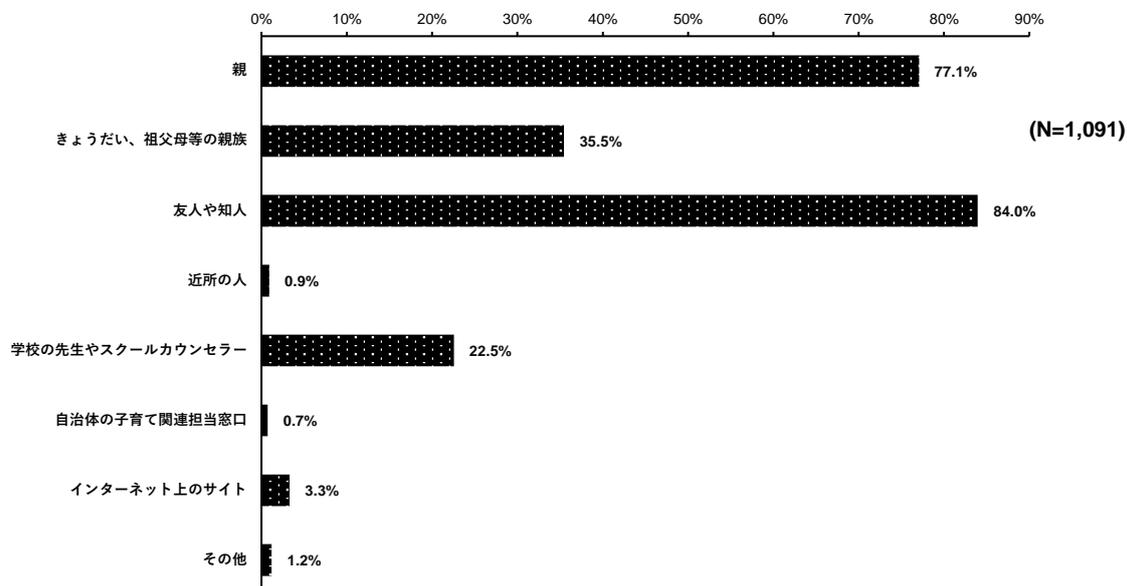


【家族構成別】

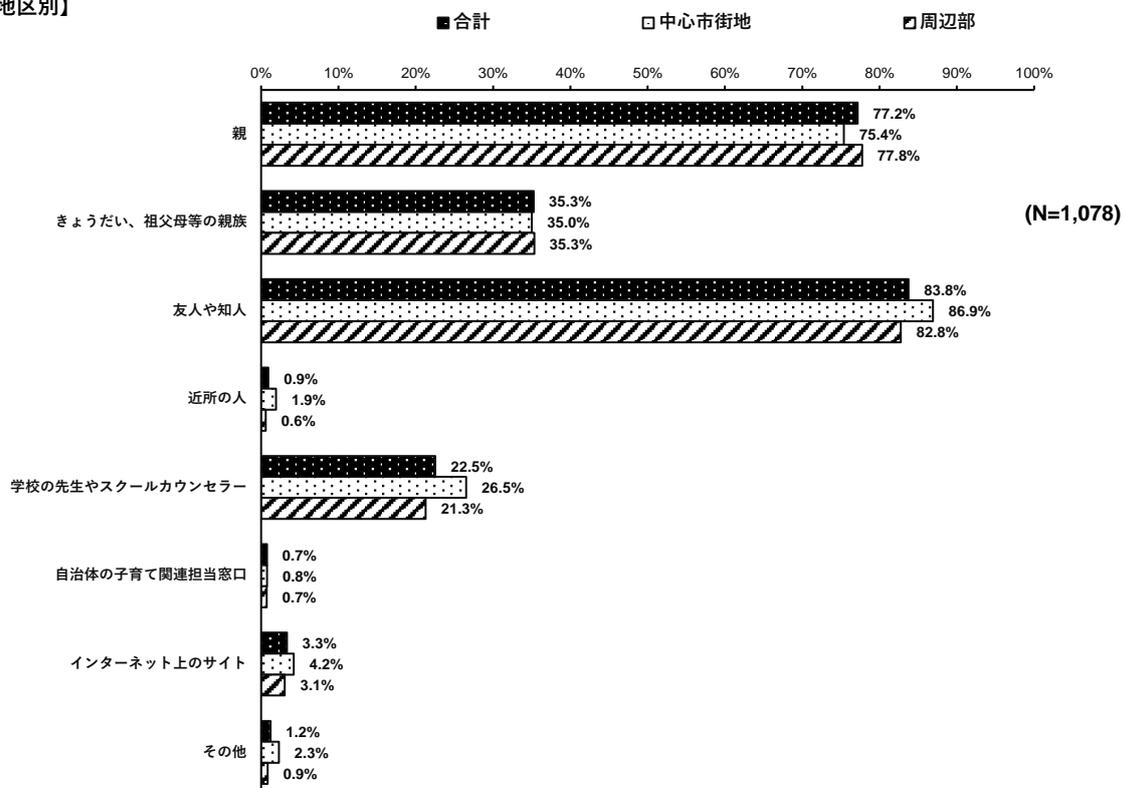


5. 気軽に相談できる先

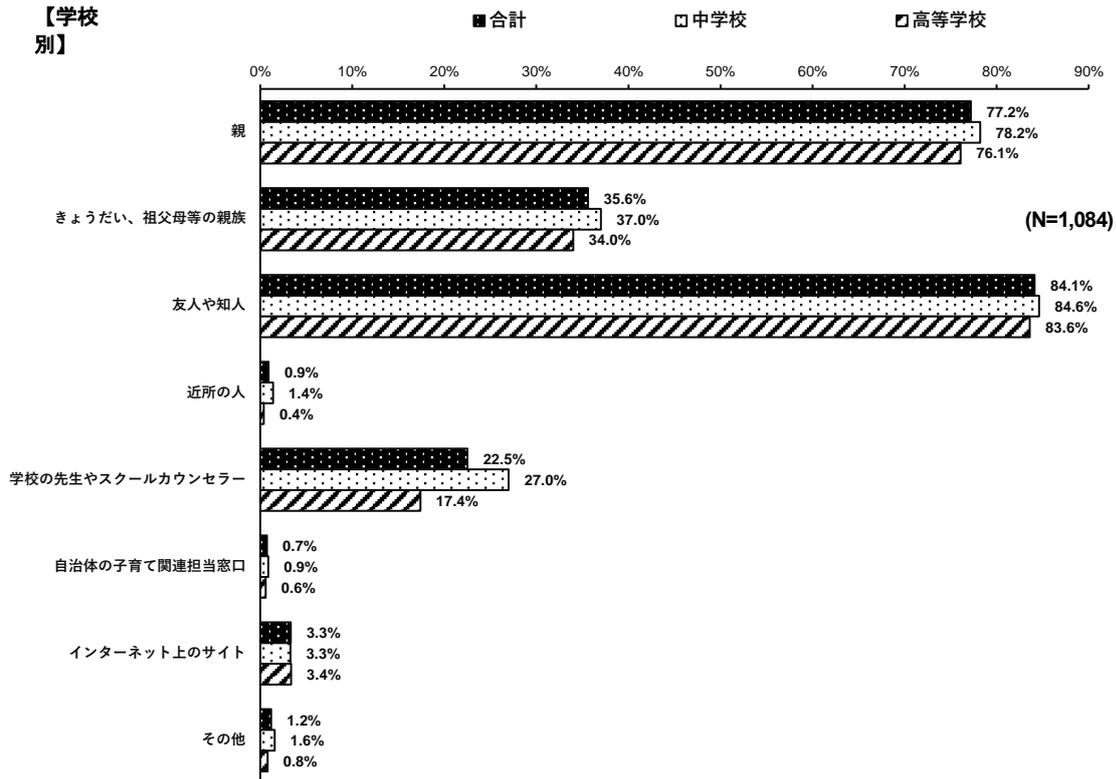
「友人や知人」が84.0%と最も高く、次いで「親」が77.1%、「きょうだい、祖父母等の親族」が35.5%となっている。



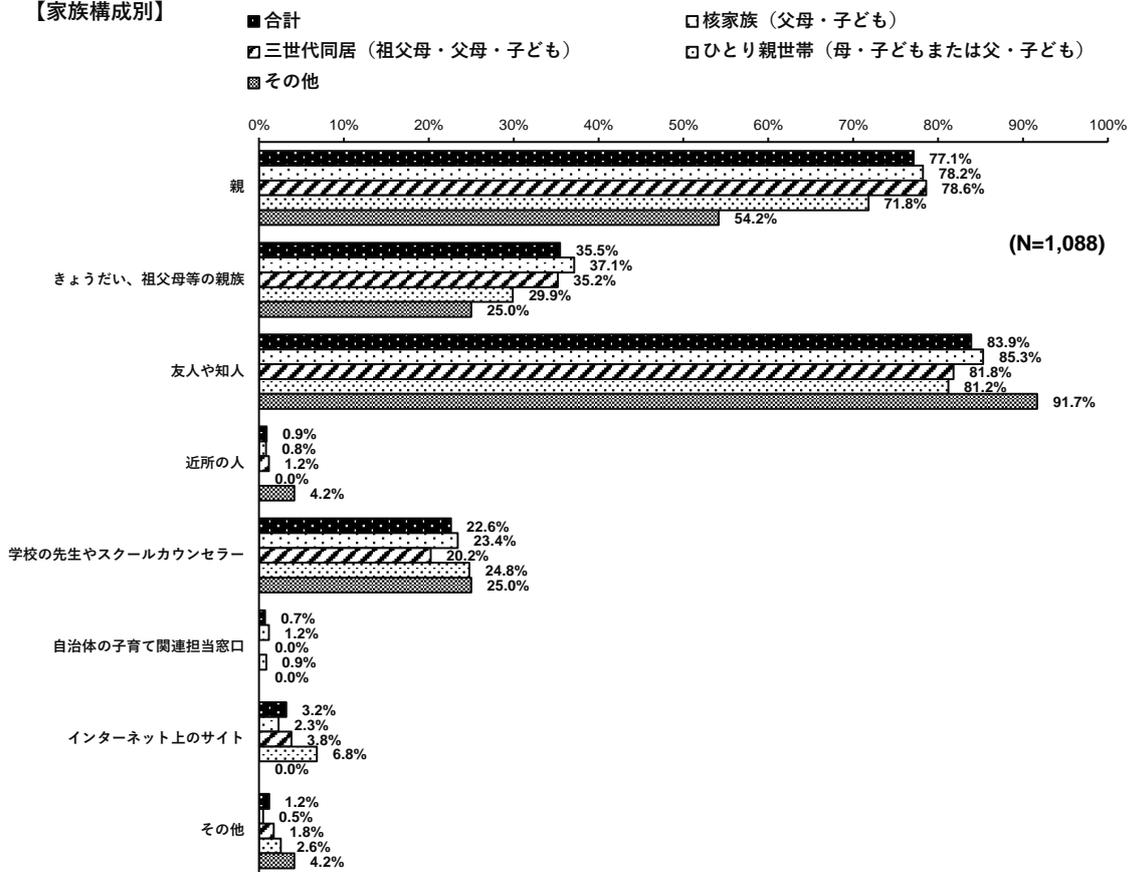
【地区別】



【学校別】



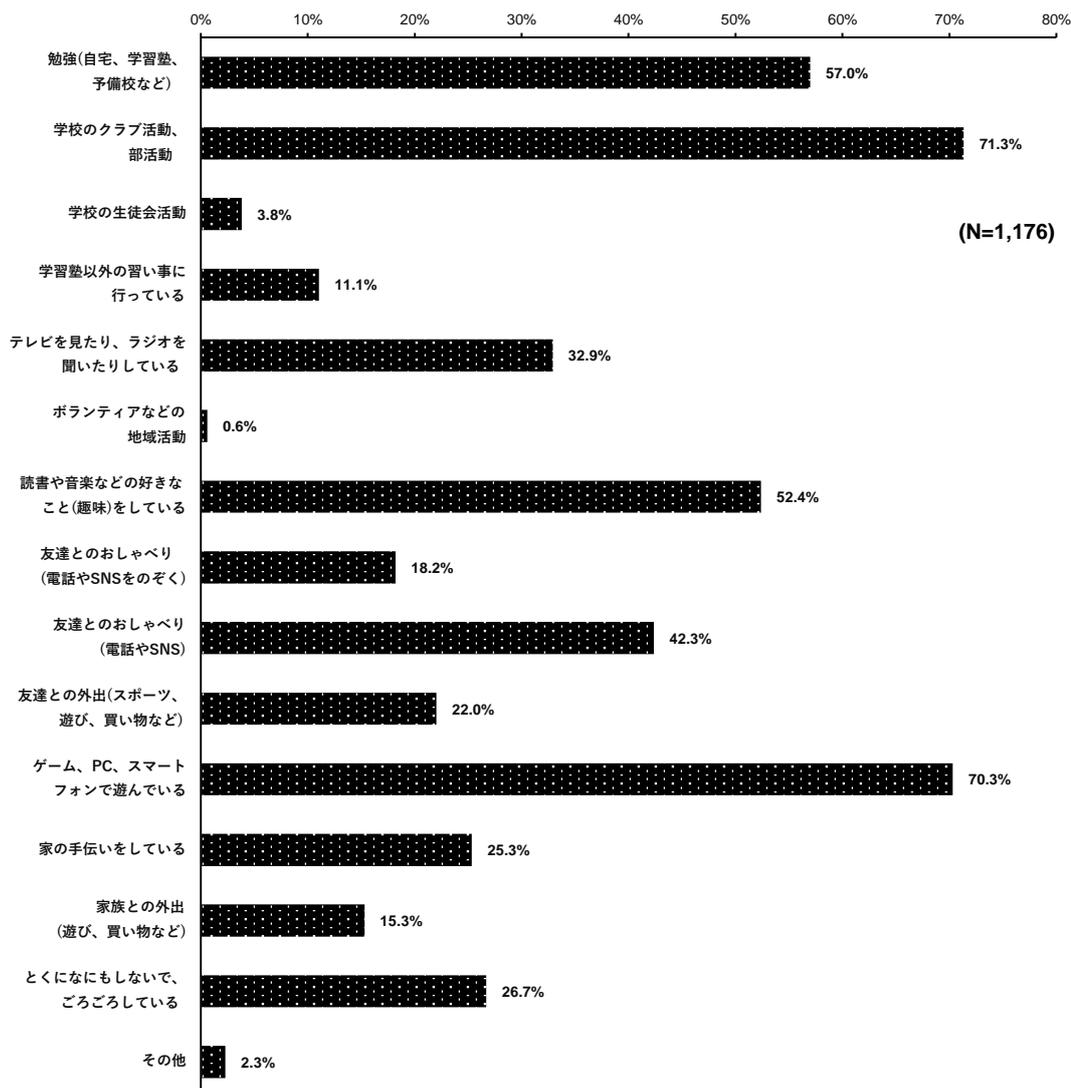
【家族構成別】



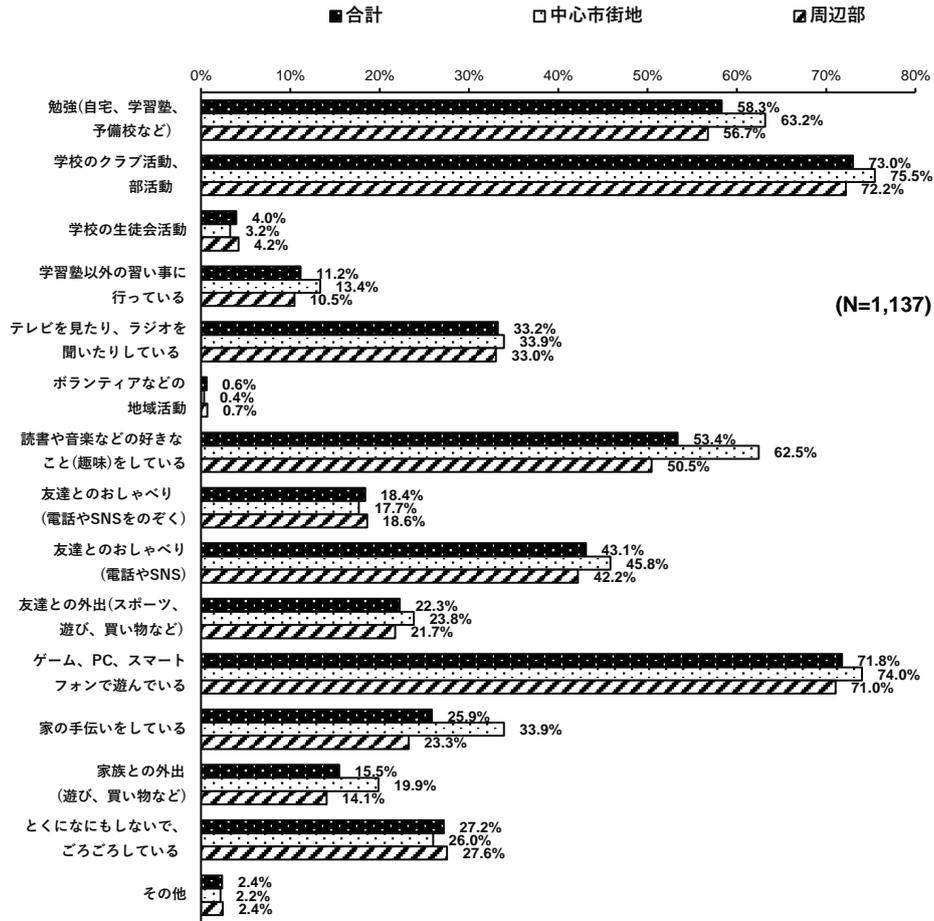
6. 【過ごし方】 平日の放課後

「学校のクラブ活動、部活動」が71.3%と最も高く、次いで「ゲーム、PC、スマートフォンで遊んでいる」が70.3%、「勉強(自宅、学習塾、予備校など)」が57.0%となっている。

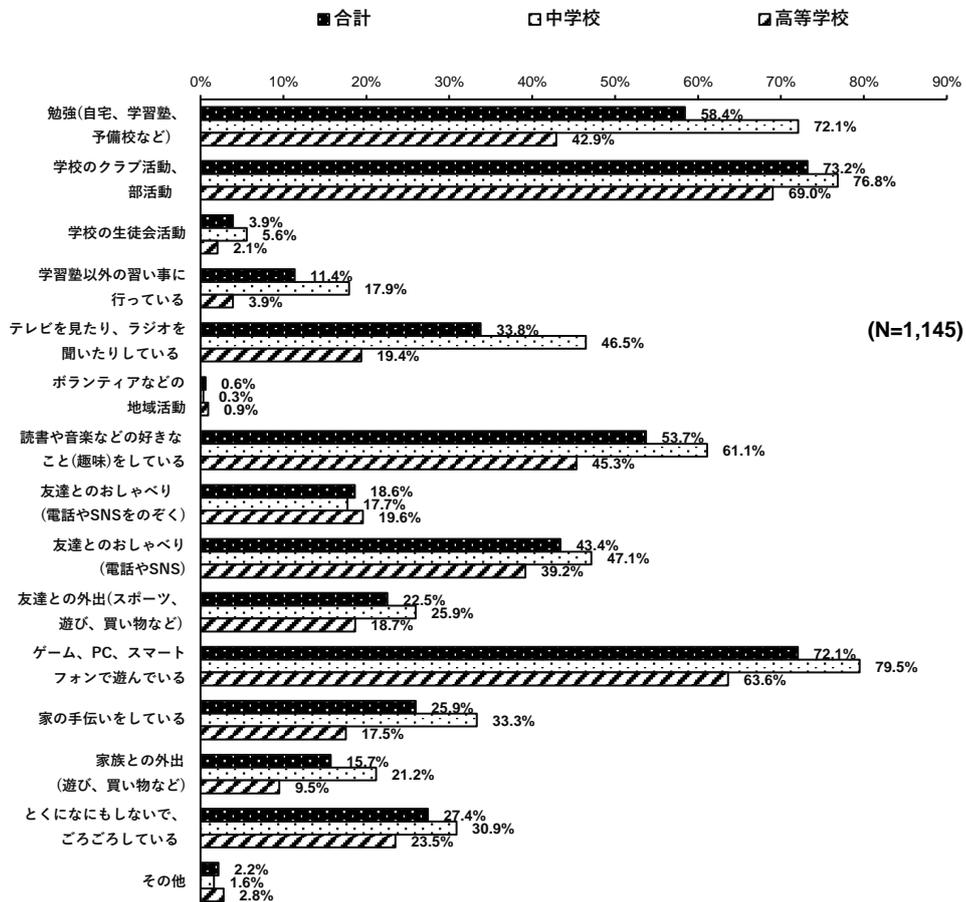
学校別にみたととき、中学校において「勉強(自宅、学習塾、予備校)」が回答の7割程度であるのに対し、高等学校では4割程度となっている。



【地区別】



【学校別】

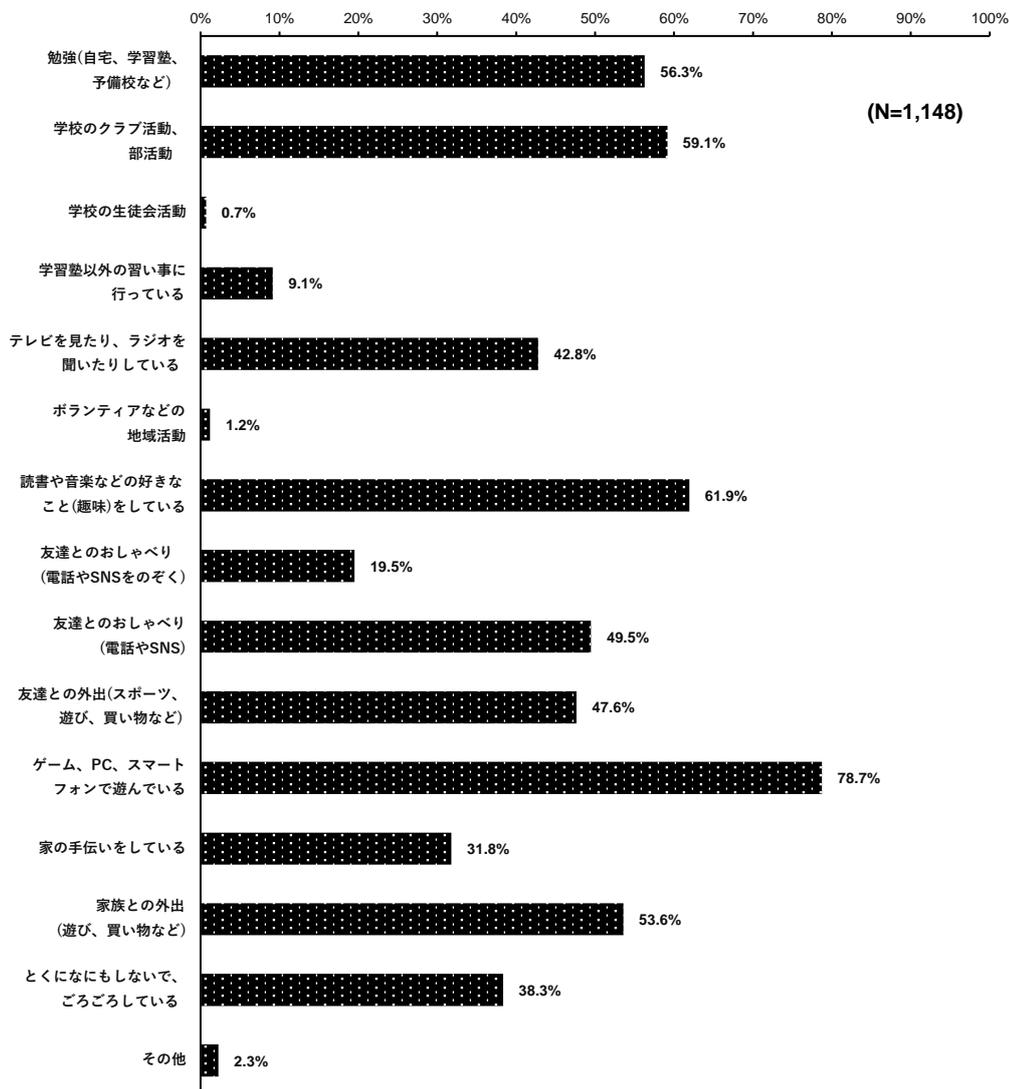


7. 【過ごし方】学校が休みの日

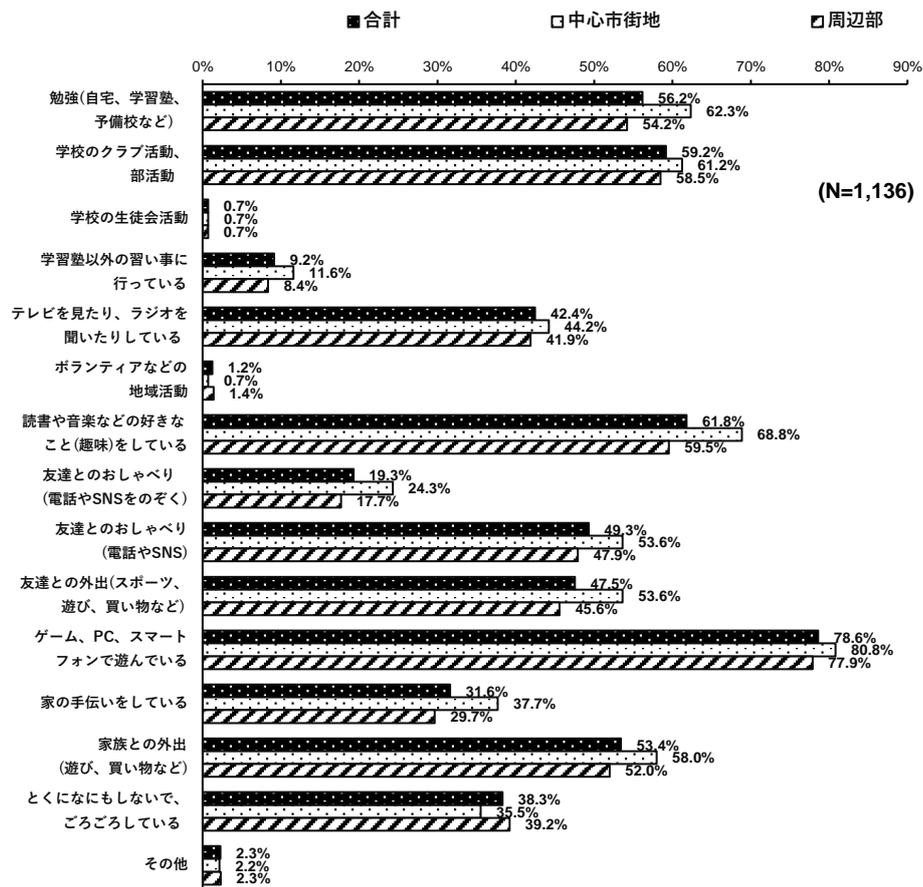
「ゲーム、PC、スマートフォンで遊んでいる」が78.7%と最も高く、次いで「読書や音楽などの好きなこと(趣味)をしている」が61.9%、「学校のクラブ活動、部活動」が59.1%となっている。

学校別にみたと、中学校において「勉強(自宅、学習塾、予備校)」が回答の65%程度であるのに対し、高等学校では45%程度となっている。

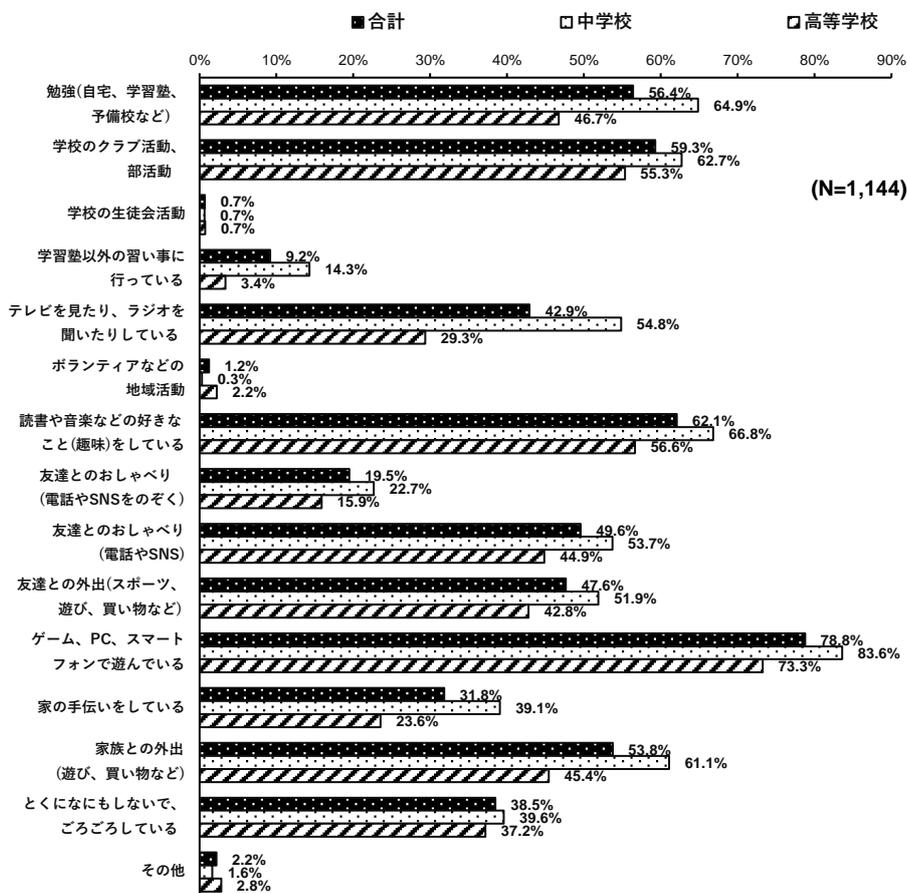
また、5年前の調査と比較すると、「学校のクラブ活動、部活動」が10ポイント以上下回った。



【地区別】



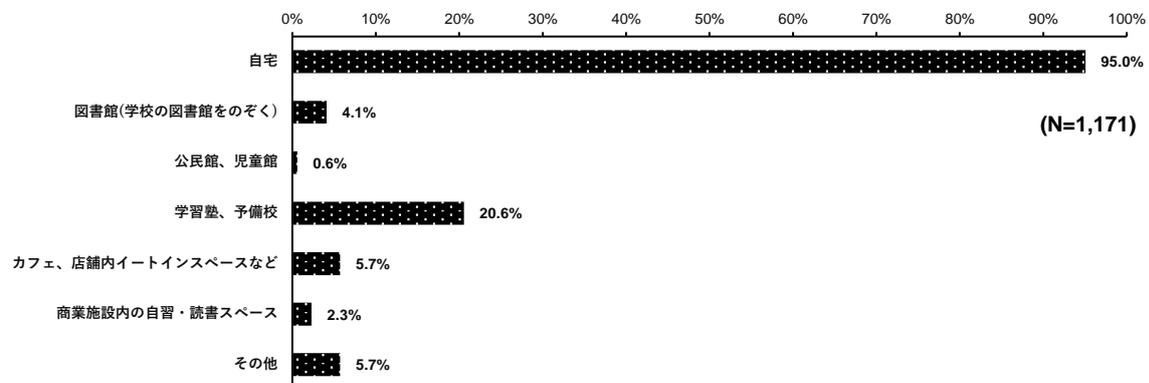
【学校別】



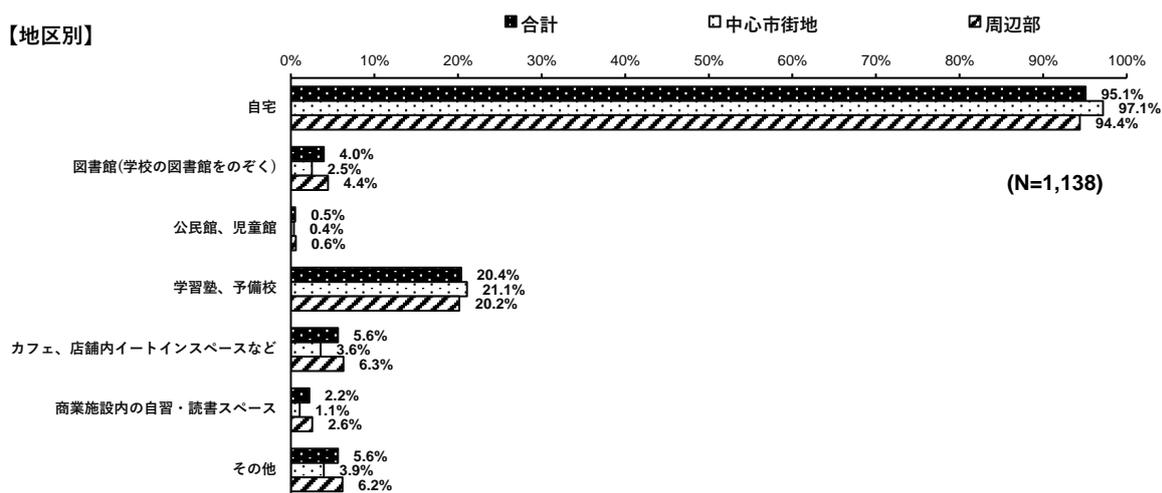
8. 【勉強する場所】 平日の放課後

「自宅」が95.0%と最も高く、次いで「学習塾、予備校」が20.6%となっている。

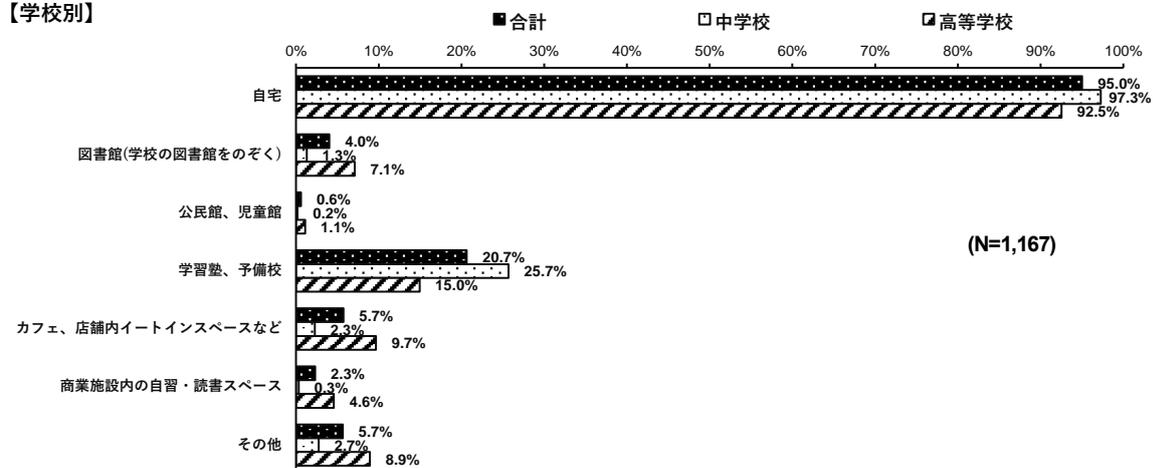
学校別にみたとき、中学校において「学習塾、予備校」が高等学校の回答を10ポイント近く上回っている。



【地区別】

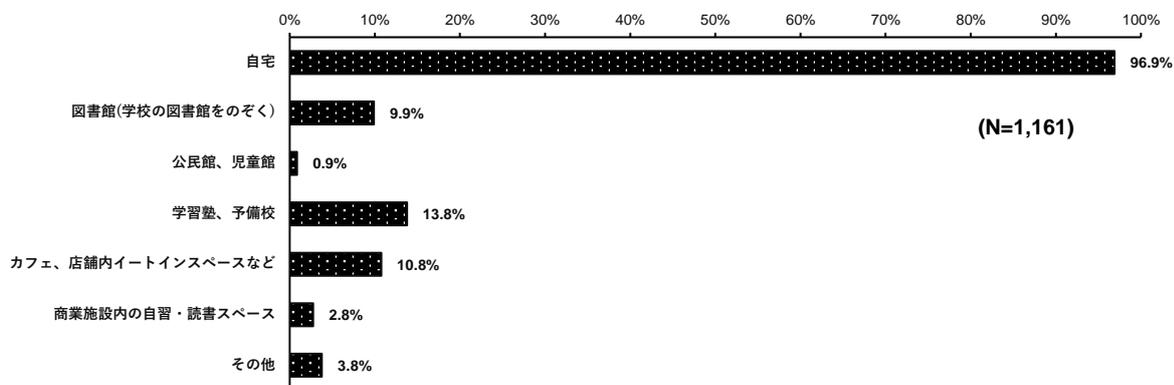


【学校別】

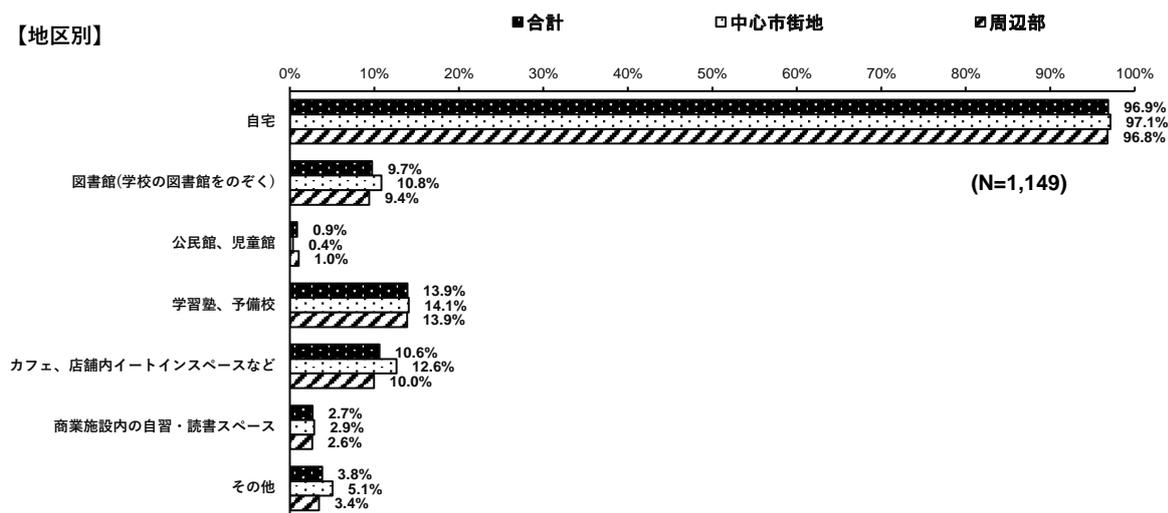


9. 【勉強する場所】学校が休みの日

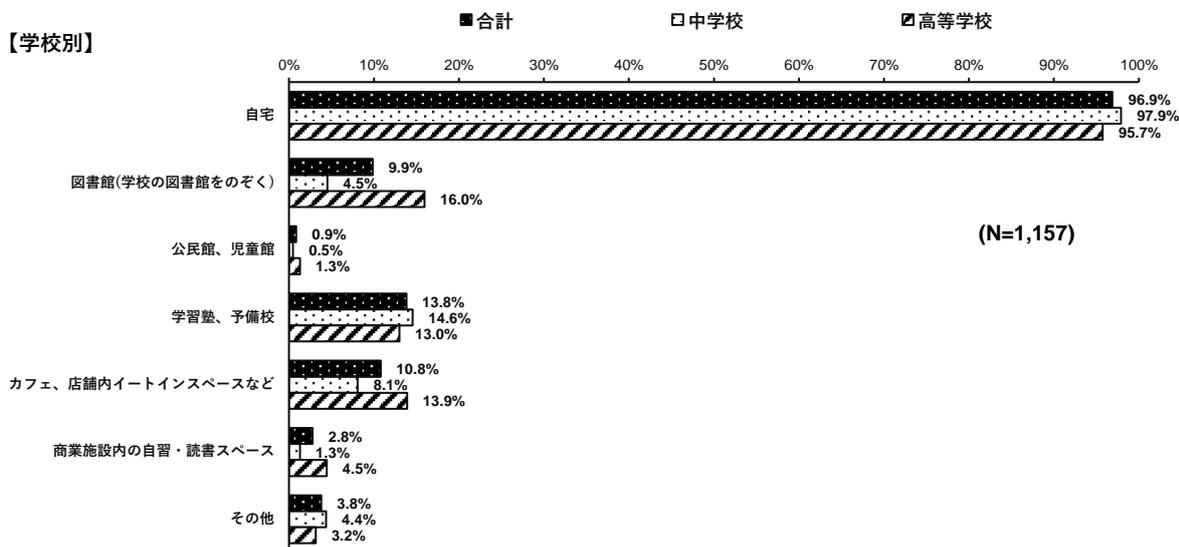
「自宅」が96.9%と最も高く、次いで「学習塾、予備校」が13.8%、「カフェ、店舗内イートインスペースなど」が10.8%となっている。



【地区別】



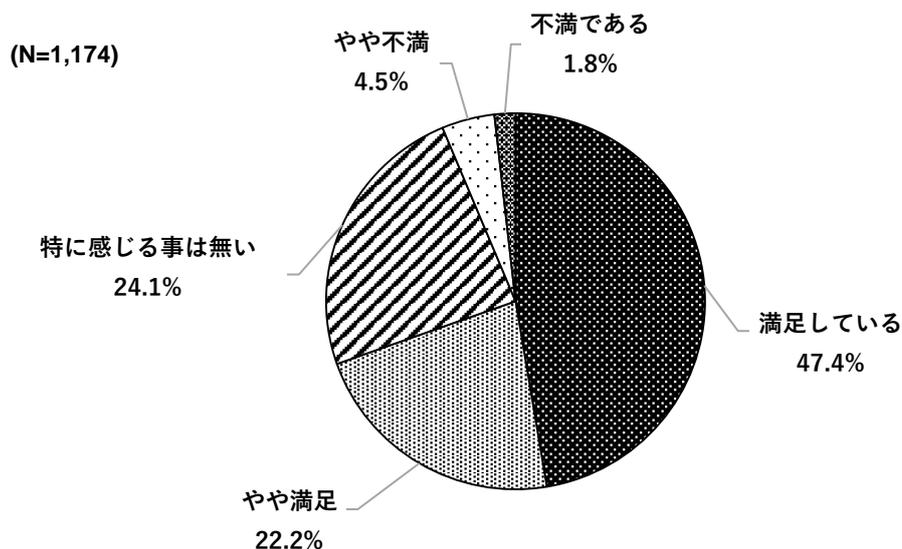
【学校別】



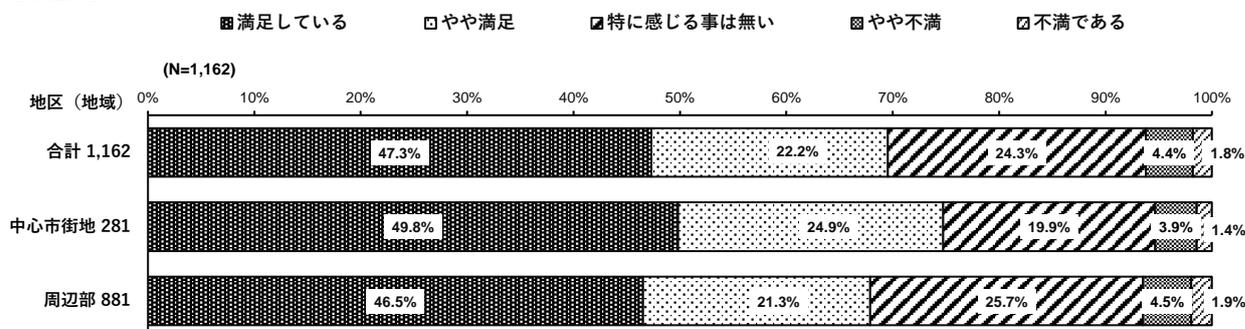
10. 【居場所への満足度】 平日の放課後

「満足している」が47.4%と最も高く、次いで「やや満足」が22.2%、「得に感じる事は無い」が24.1%となっている。

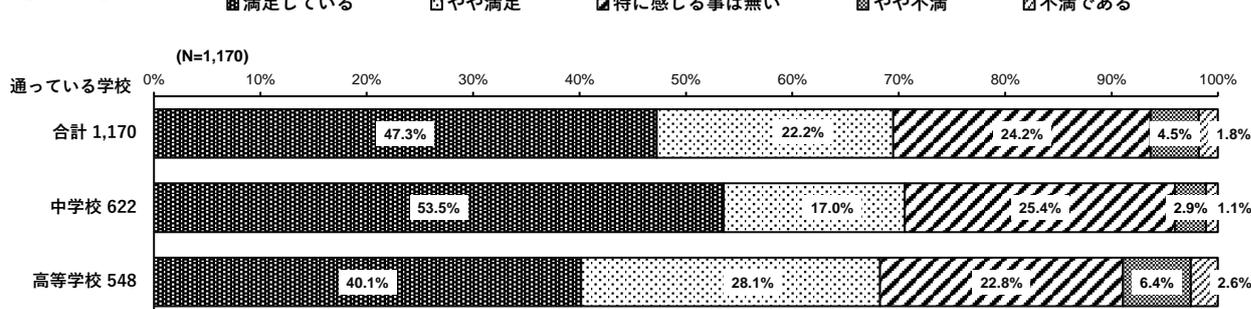
学校別にみたとき、中学校において「満足している」が回答の5割以上であるのに対し、高等学校では4割程度となっている。



【地区別】



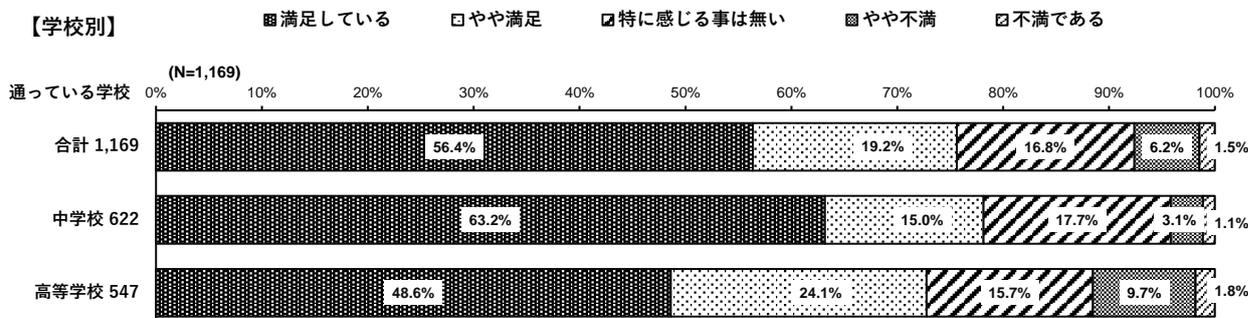
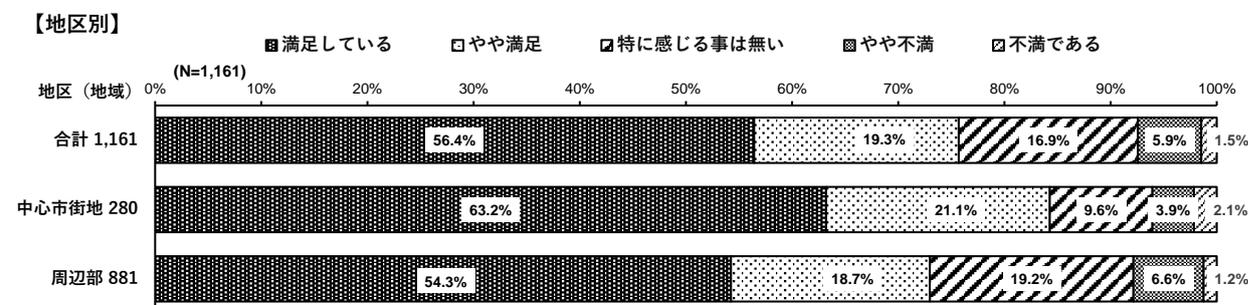
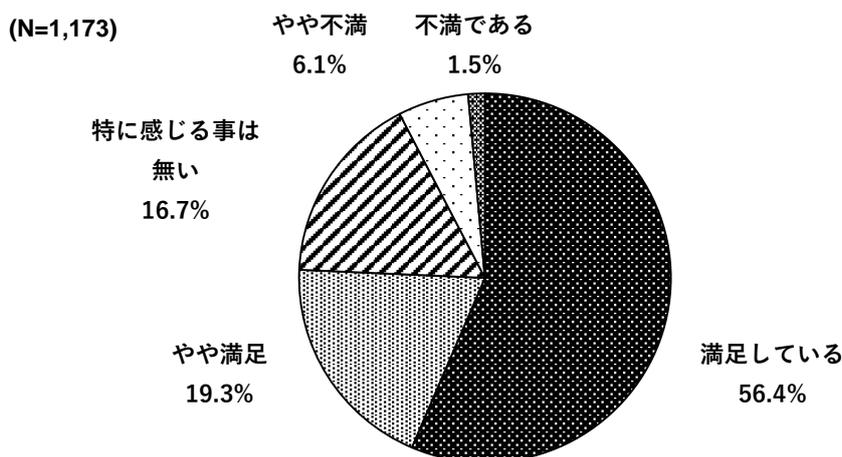
【学校別】



11. 【居場所への満足度】学校が休みの日

「満足している」が56.4%と最も高く、次いで「やや満足」が19.3%、「特に感じる事は無い」が16.7%となっている。

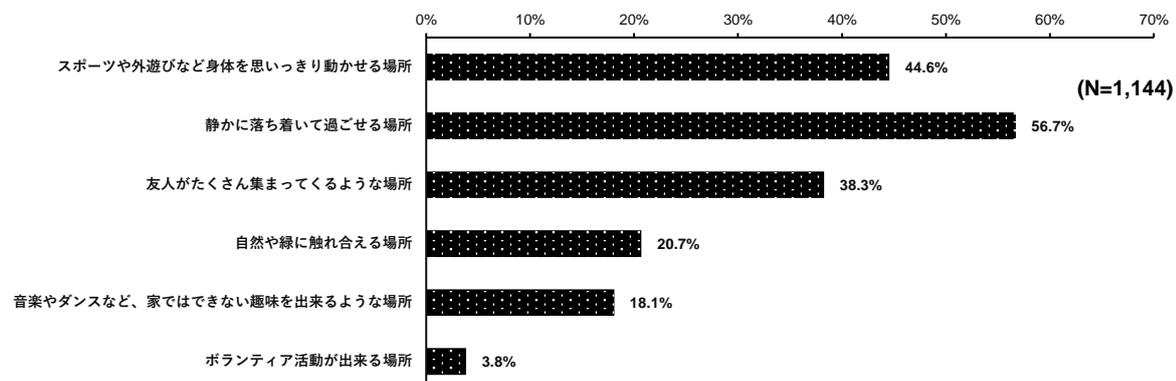
学校別にみたとき、中学校において「満足している」が回答の6割以上であるのに対し、高等学校では5割程度となっている。



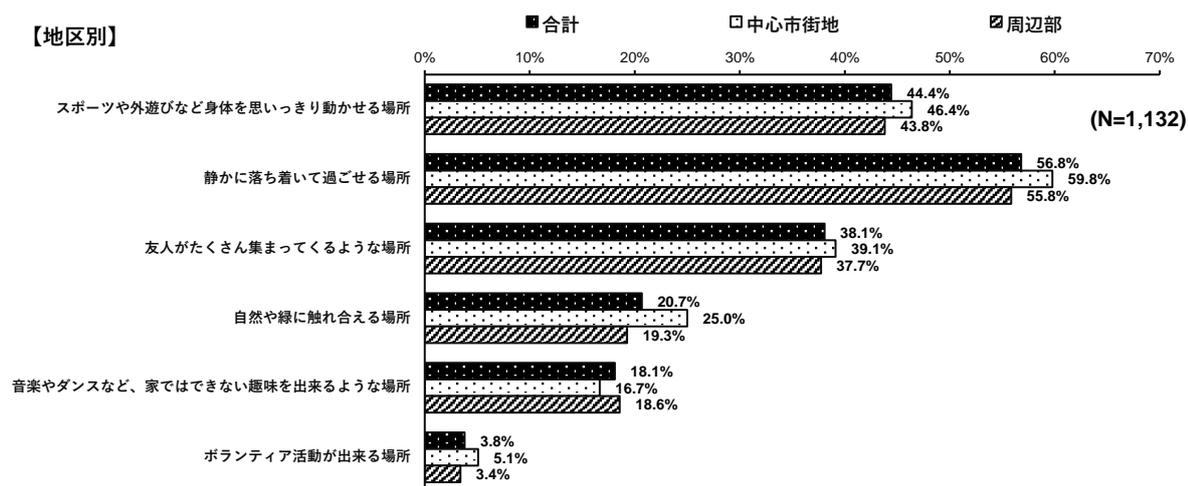
12. 【自分の周りがあるとよい場所】 平日の放課後

「静かに落ち着いて過ごせる場所」が56.7%と最も高く、次いで「スポーツや外遊びなど身体を思いっきり動かせる場所」が44.6%、「友人がたくさん集まってくるような場所」が38.3%となっている。

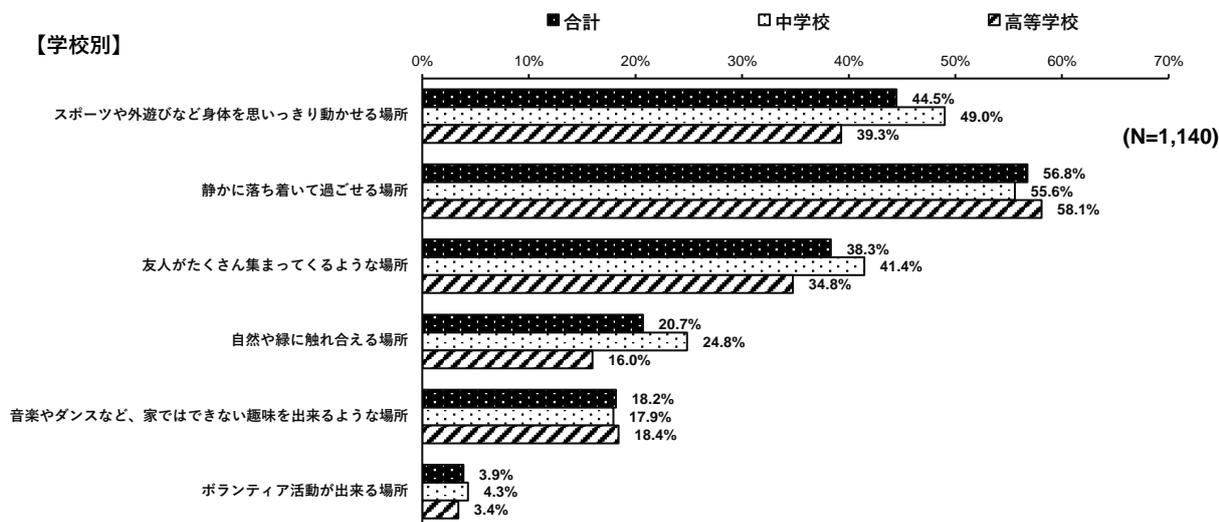
学校別にみたととき、中学校において「スポーツや外遊びなど身体を思いっきり動かせる場所」が高等学校の回答を10ポイント近く上回っている。



【地区別】



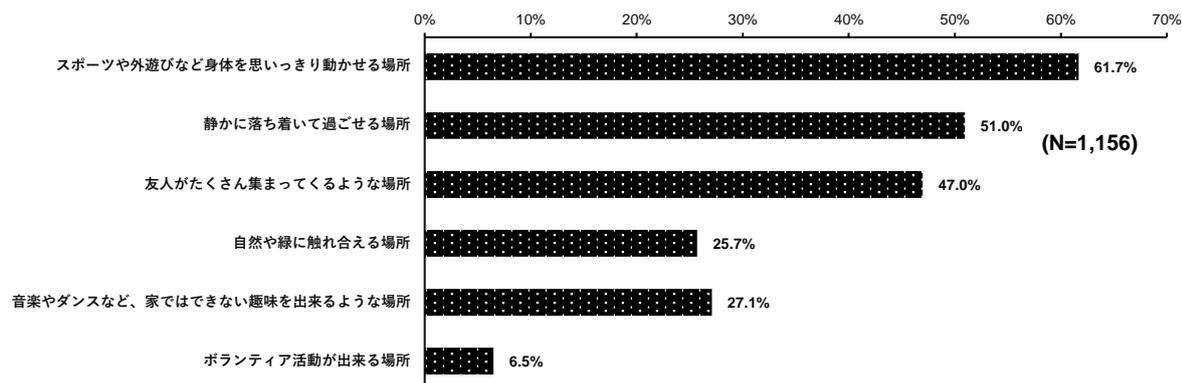
【学校別】



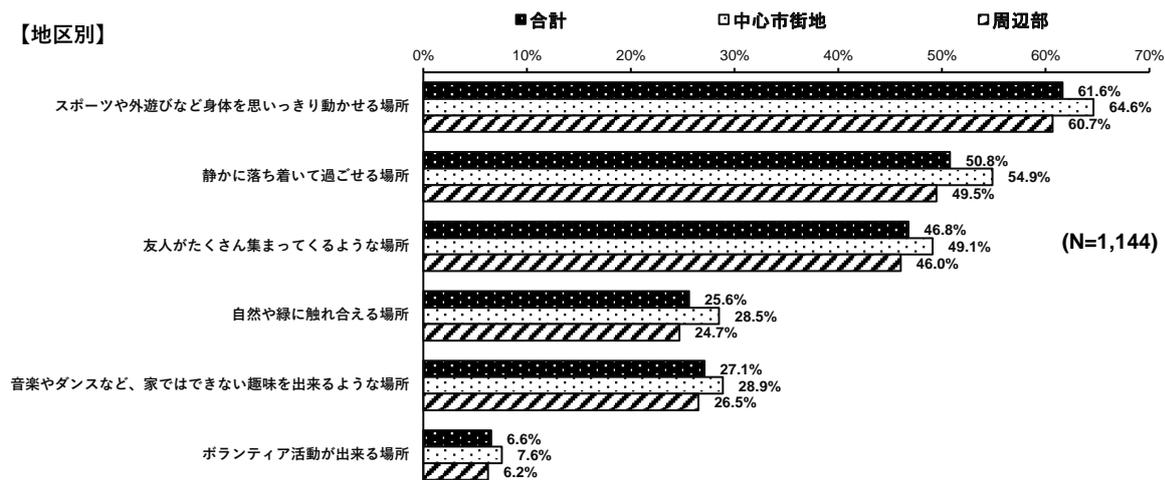
13. 【自分の周りがあるとよい場所】学校が休みの日

「スポーツや外遊びなど身体を思いっきり動かせる場所」が61.7%と最も高く、次いで「静かに落ち着いて過ごせる場所」が51.0%、「友人がたくさん集まってくるような場所」が47.0%となっている。

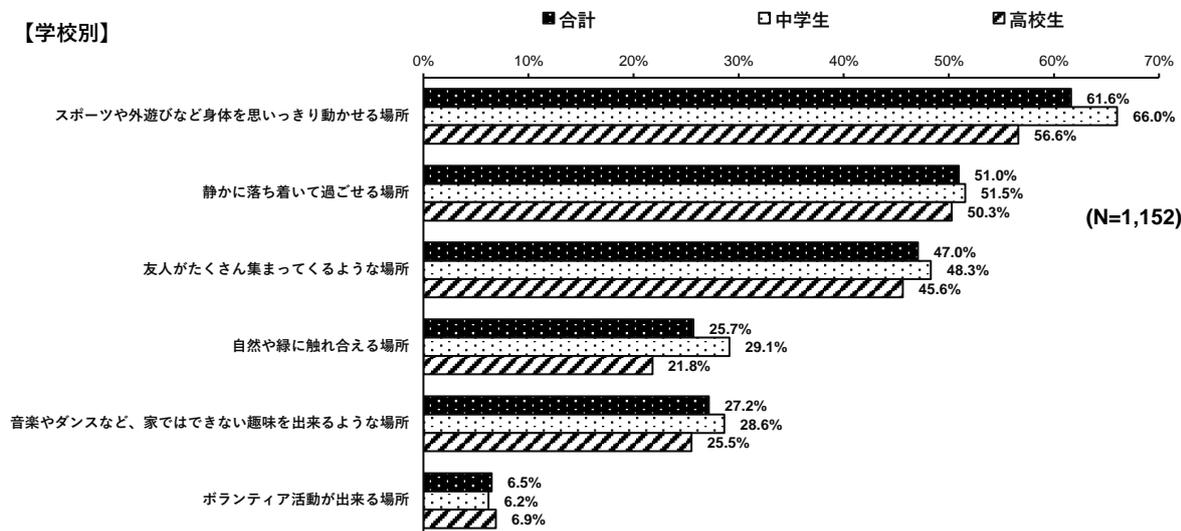
学校別にみたととき、中学校において「スポーツや外遊びなど身体を思いっきり動かせる場所」を回答した割合が66.0%であるのに対し、高等学校では56.6%となっている。



【地区別】



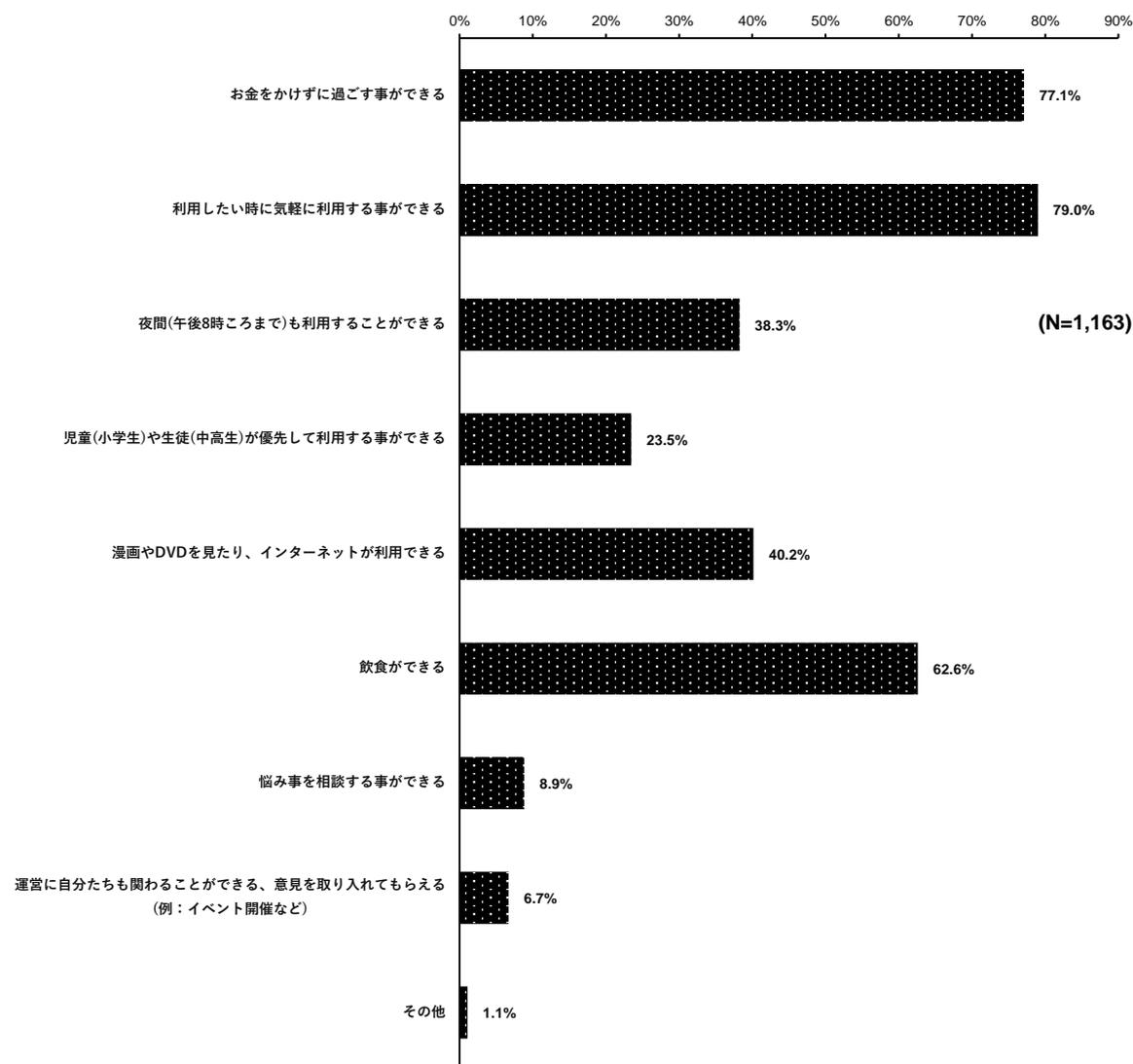
【学校別】



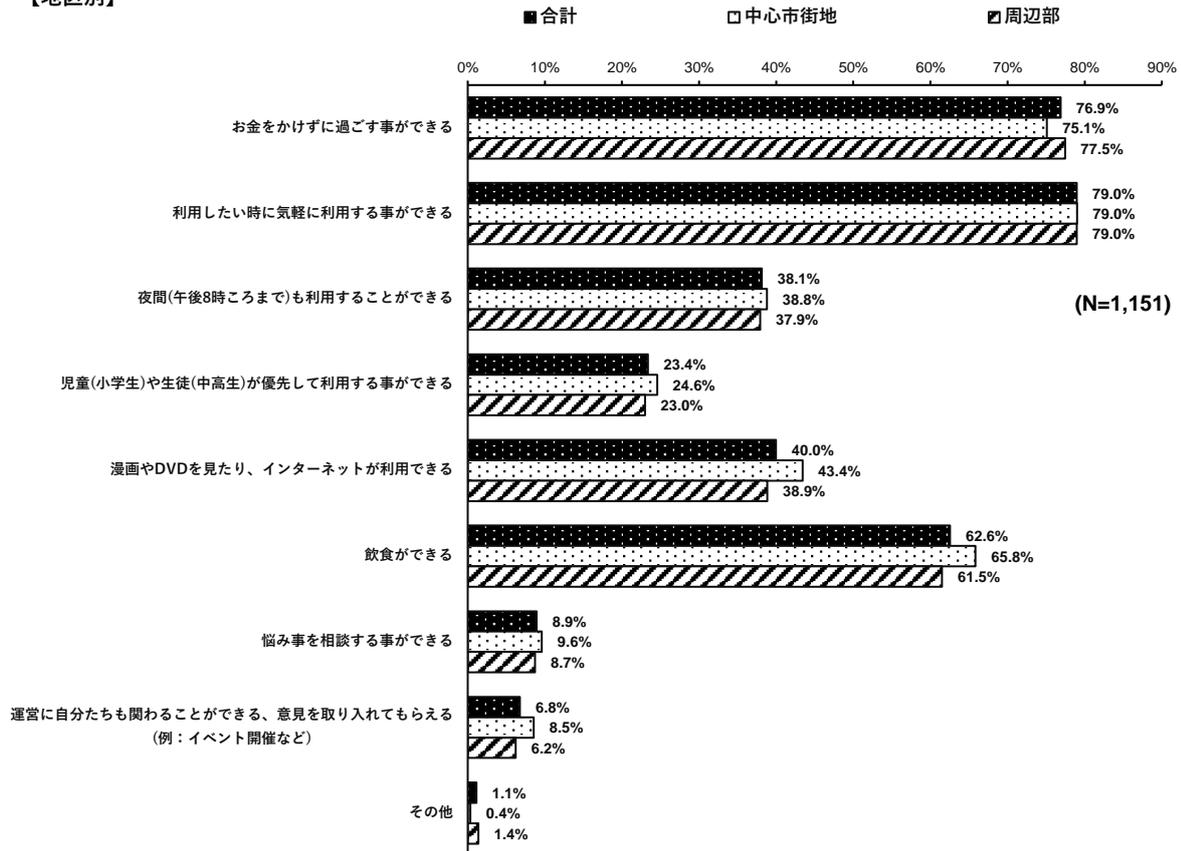
14. 【居場所にあるとよい機能・サービス】 平日の放課後

「利用したいときに気軽に利用することができる」が79.0%と最も高く、次いで「お金をかけずに過ごす事ができる」が77.1%、「飲食ができる」が62.6%となっている。

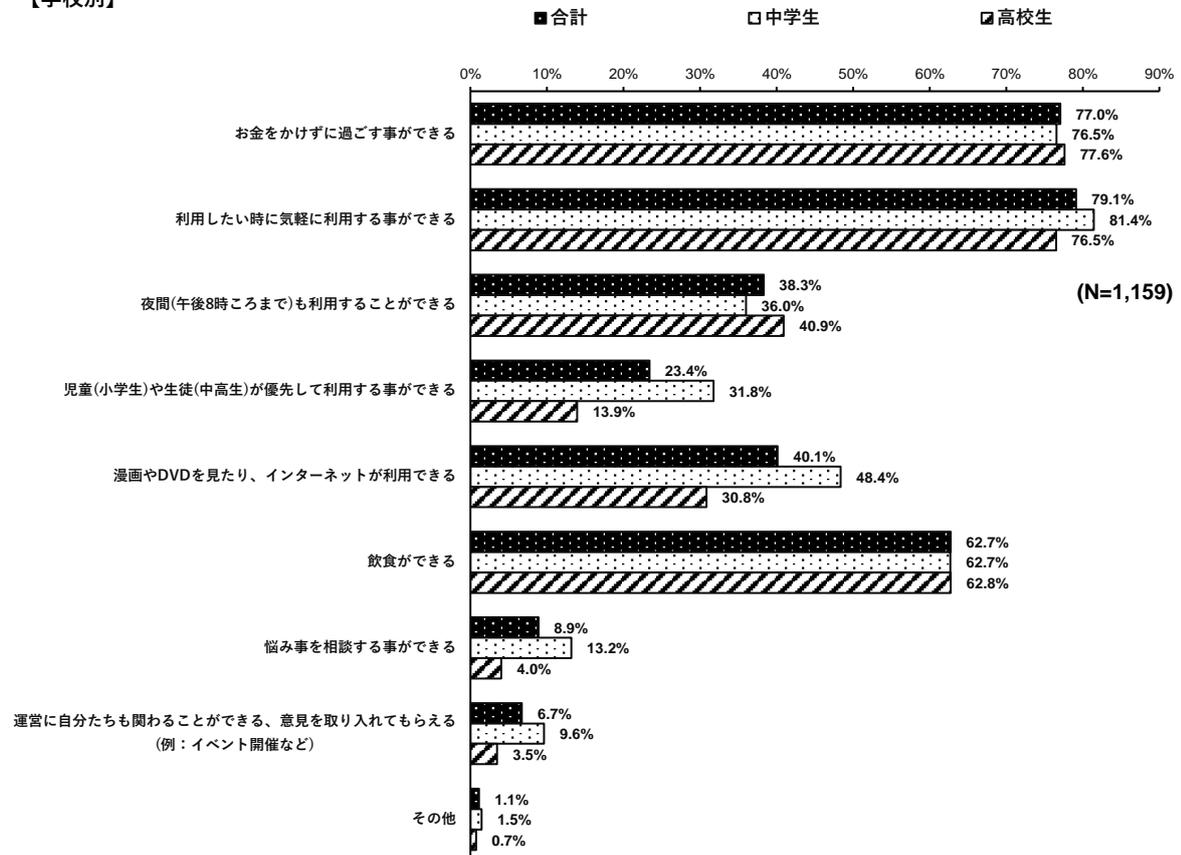
学校別にみたととき、中学校において「児童(小学生)や生徒(中高生)が優先して利用することができる」「漫画やDVDを見たり、インターネットが利用できる」がともに17ポイント程度、高等学校の回答を上回っている。



【地区別】



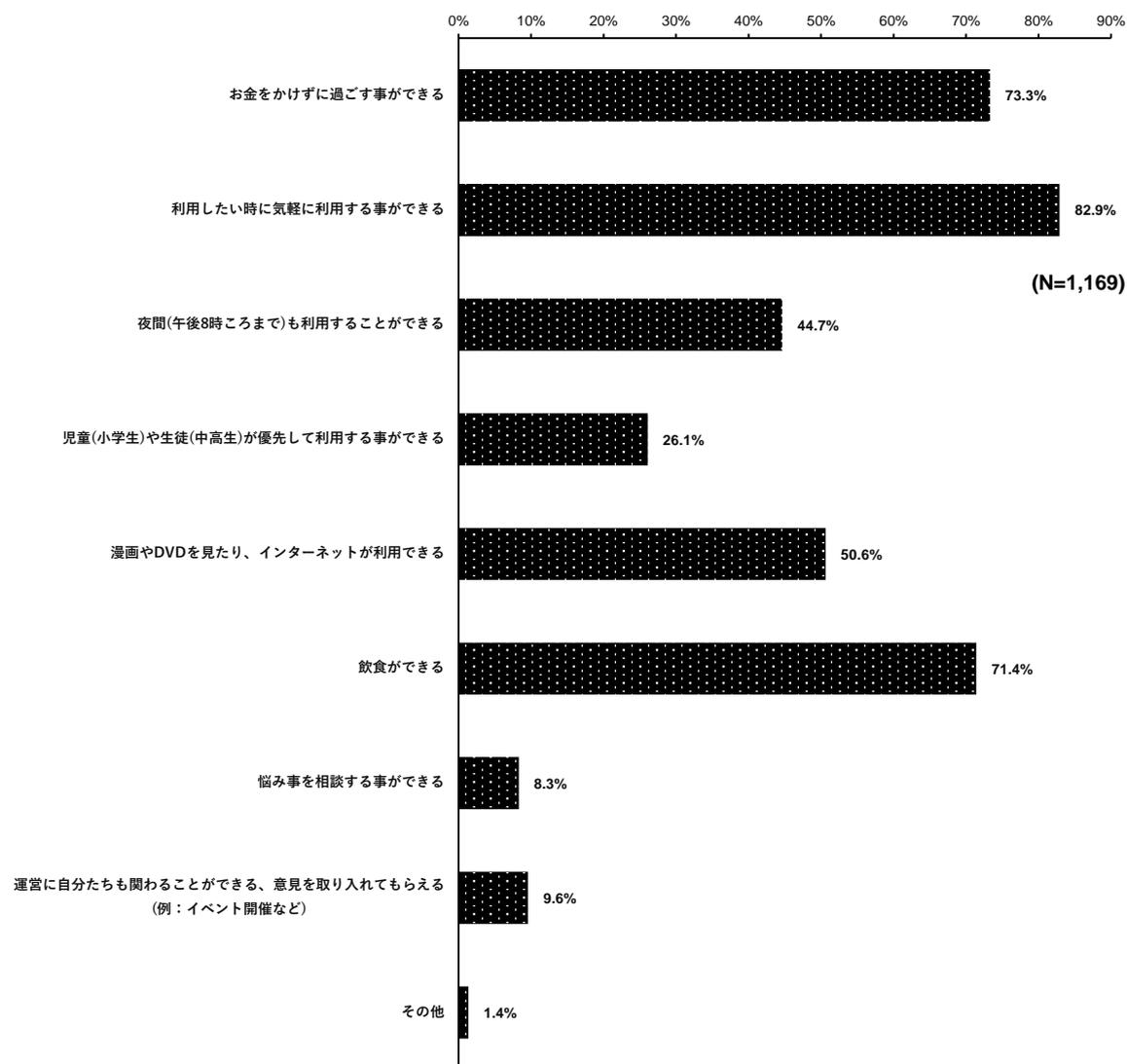
【学校別】



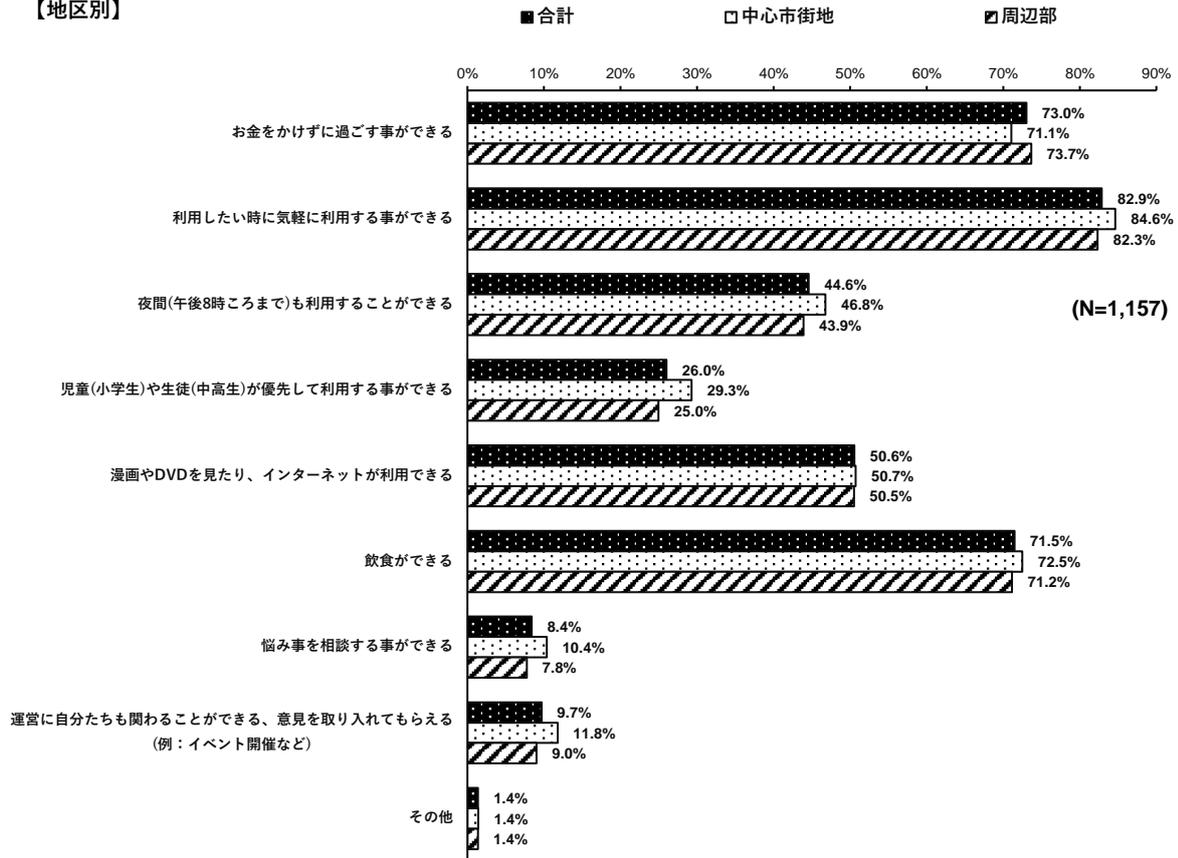
15. 【居場所にあるとよい機能・サービス】学校が休みの日

「利用したいときに気軽に利用することができる」が82.9%と最も高く、次いで「お金をかけずに過ごす事ができる」が73.3%、「飲食ができる」が71.4%となっている。

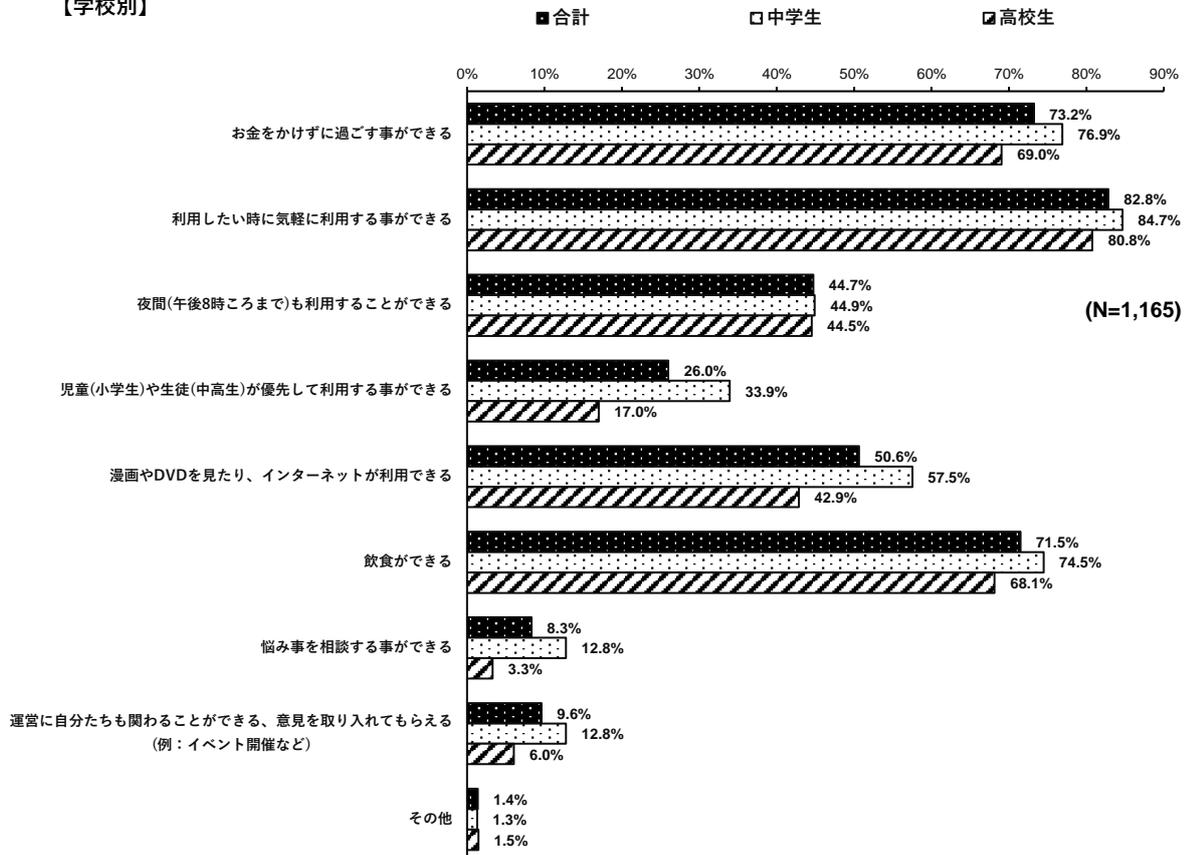
学校別にみたとき、中学校において「児童(小学生)や生徒(中高生)が優先して利用することができる」「漫画やDVDを見たり、インターネットが利用できる」がともに高等学校の回答を10ポイント以上上回っている。



【地区別】



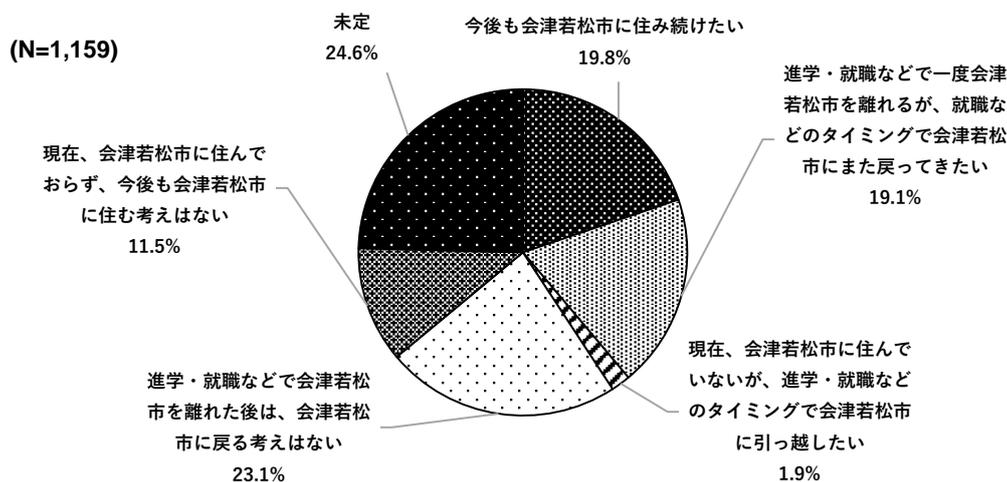
【学校別】



16. 会津若松市に住むことについて

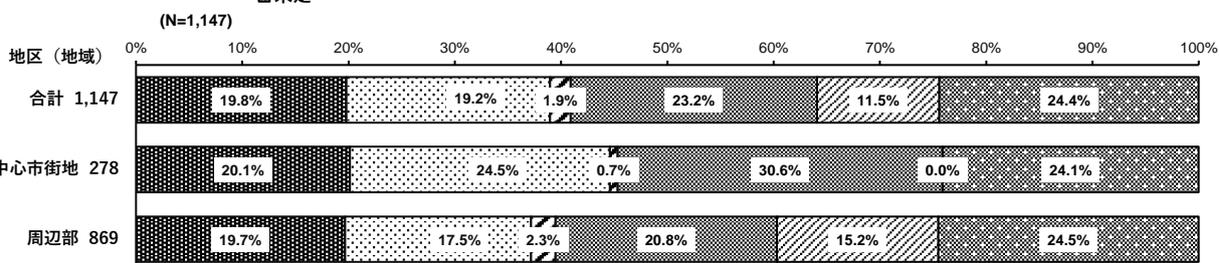
「未定」が24.6%と最も高く、次いで「進学・就職などで会津若松市を離れた後は、会津若松市に戻る考えはない」が23.1%、「今後も会津若松市に住み続けたい」が19.8%となっている。

また、「会津若松市に住み続けたい」、「会津若松市にまた戻ってきたい」、「会津若松市に引っ越ししたい」の回答の合計が全体の4割、「会津若松市に戻る考えはない」、「今後も会津若松市に住む考えはない」が3割を超えている。



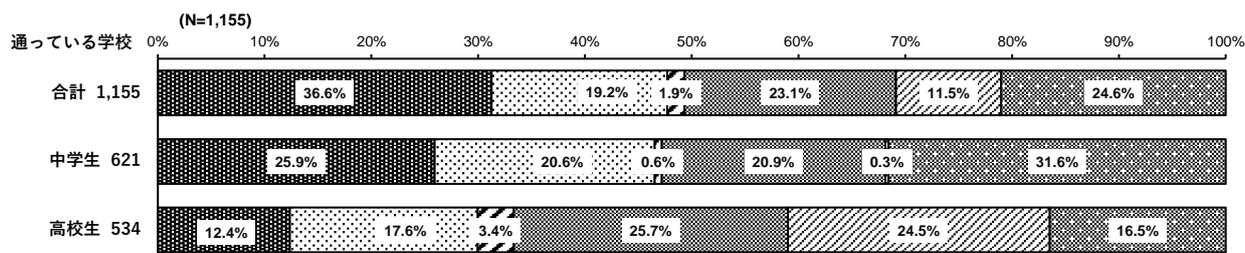
【地区別】

- 今後も会津若松市に住み続けたい
- 進学・就職などで一度会津若松市を離れるが、就職などのタイミングで会津若松市にまた戻ってきたい
- ▨ 現在、会津若松市に住んでいないが、進学・就職などのタイミングで会津若松市に引っ越ししたい
- ▩ 進学・就職などで会津若松市を離れた後は、会津若松市に戻る考えはない
- ▧ 現在、会津若松市に住んでおらず、今後も会津若松市に住む考えはない
- ⊠ 未定



【学校別】

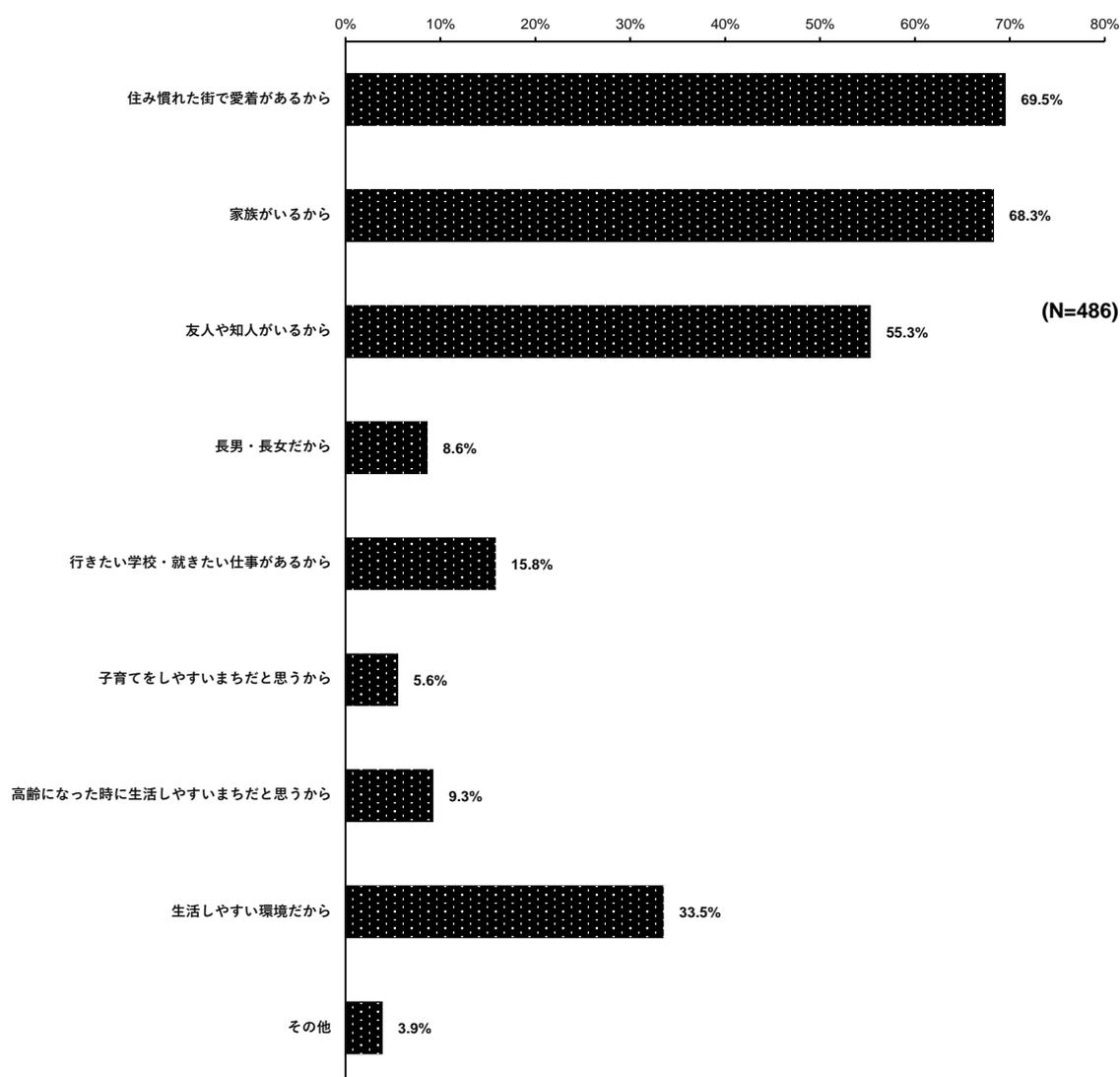
- 今後も会津若松市に住み続けたい
- 進学・就職などで一度会津若松市を離れるが、就職などのタイミングで会津若松市にまた戻ってきたい
- ▨ 現在、会津若松市に住んでいないが、進学・就職などのタイミングで会津若松市に引っ越ししたい
- ▩ 進学・就職などで会津若松市を離れた後は、会津若松市に戻る考えはない
- ▧ 現在、会津若松市に住んでおらず、今後も会津若松市に住む考えはない
- ⊠ 未定



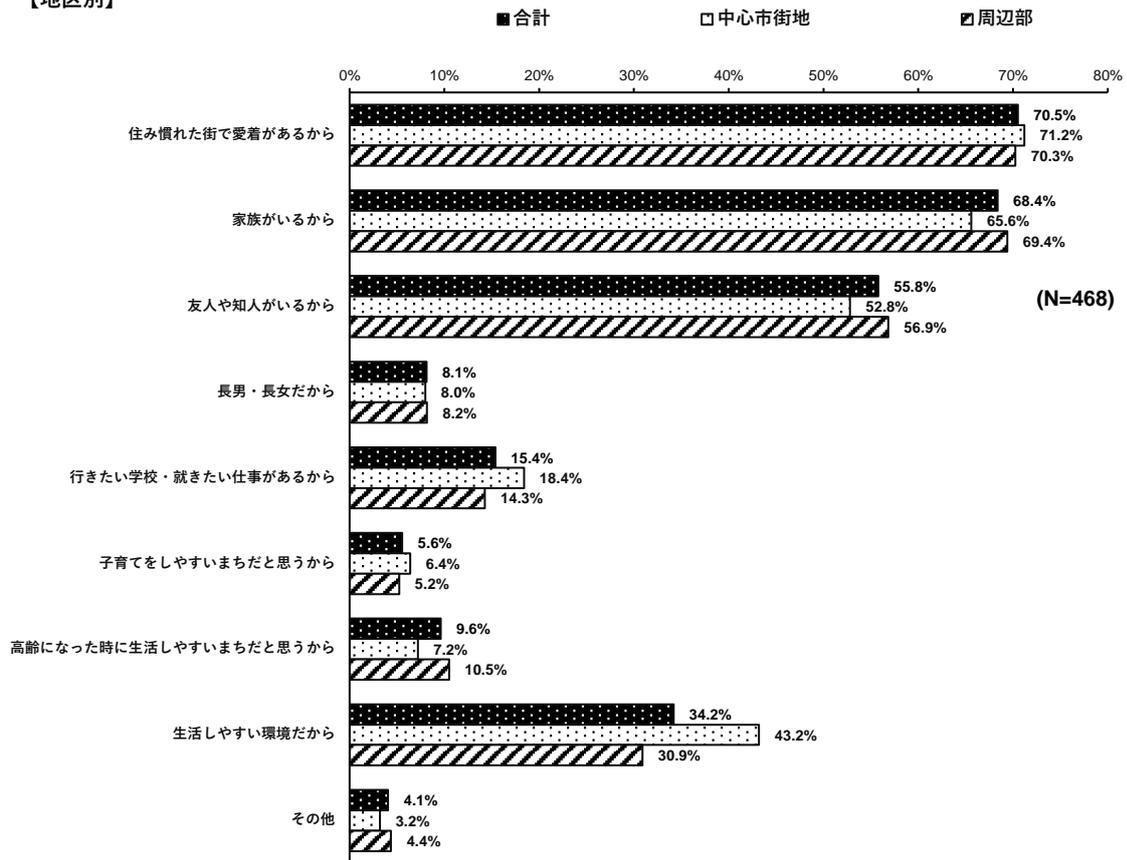
17. 会津若松市に住みたい理由

「住み慣れた街で愛着があるから」が69.5%と最も高く、次いで「家族がいるから」が68.3%、「友人や知人がいるから」が55.3%となっている。

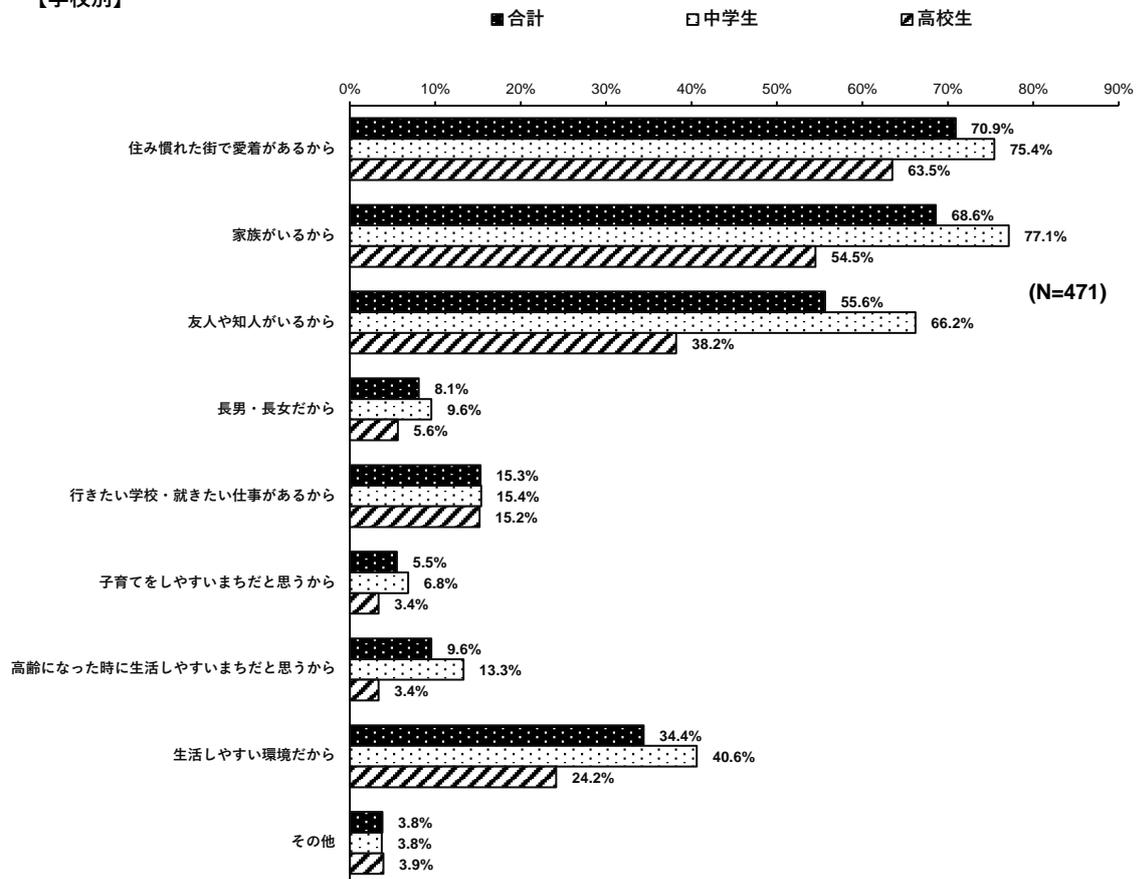
学校別にみたとき、中学校において「友人や知人がいるから」を回答した割合が66.2%である一方で、高等学校においては38.2%だった。



【地区別】



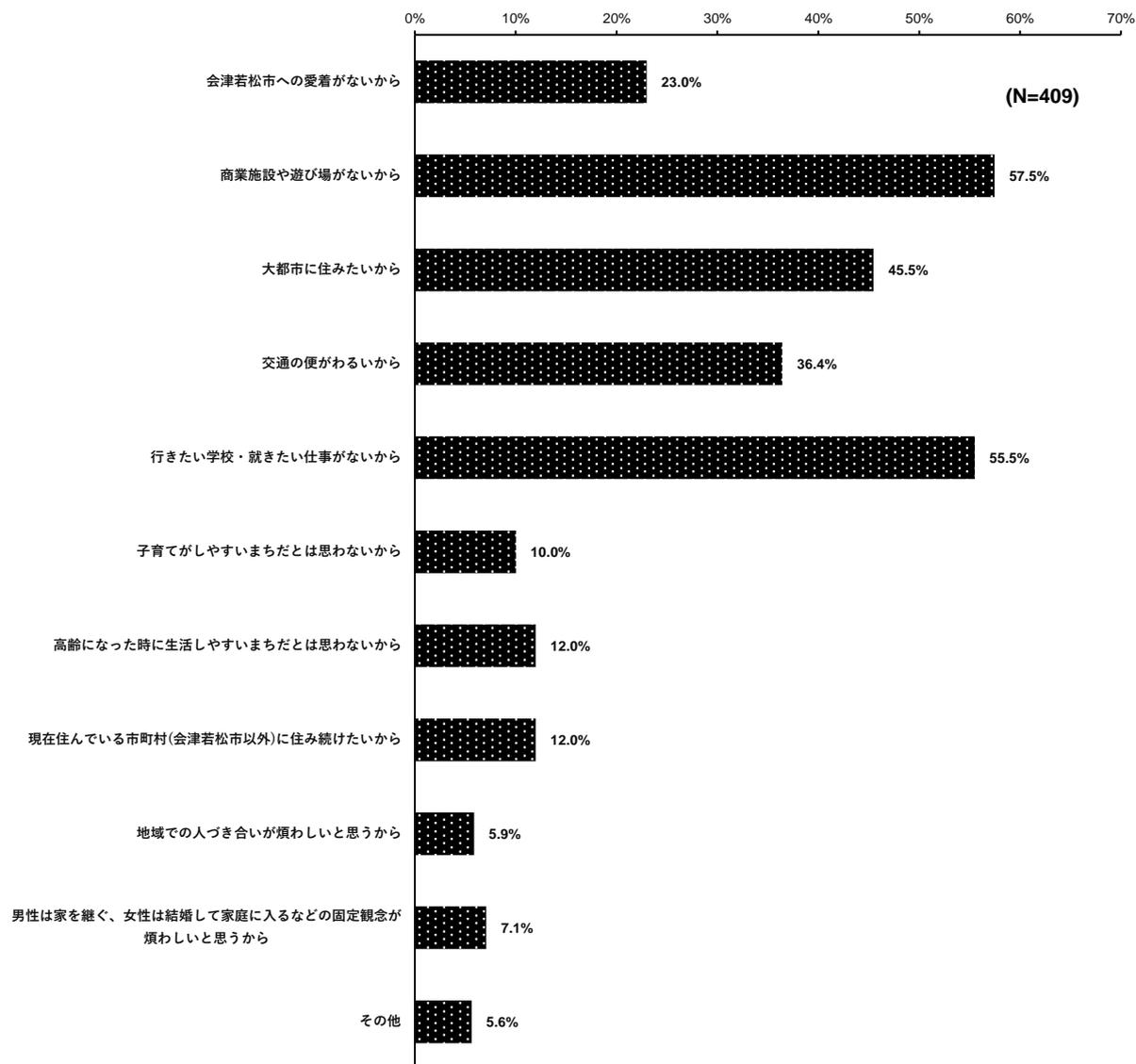
【学校別】



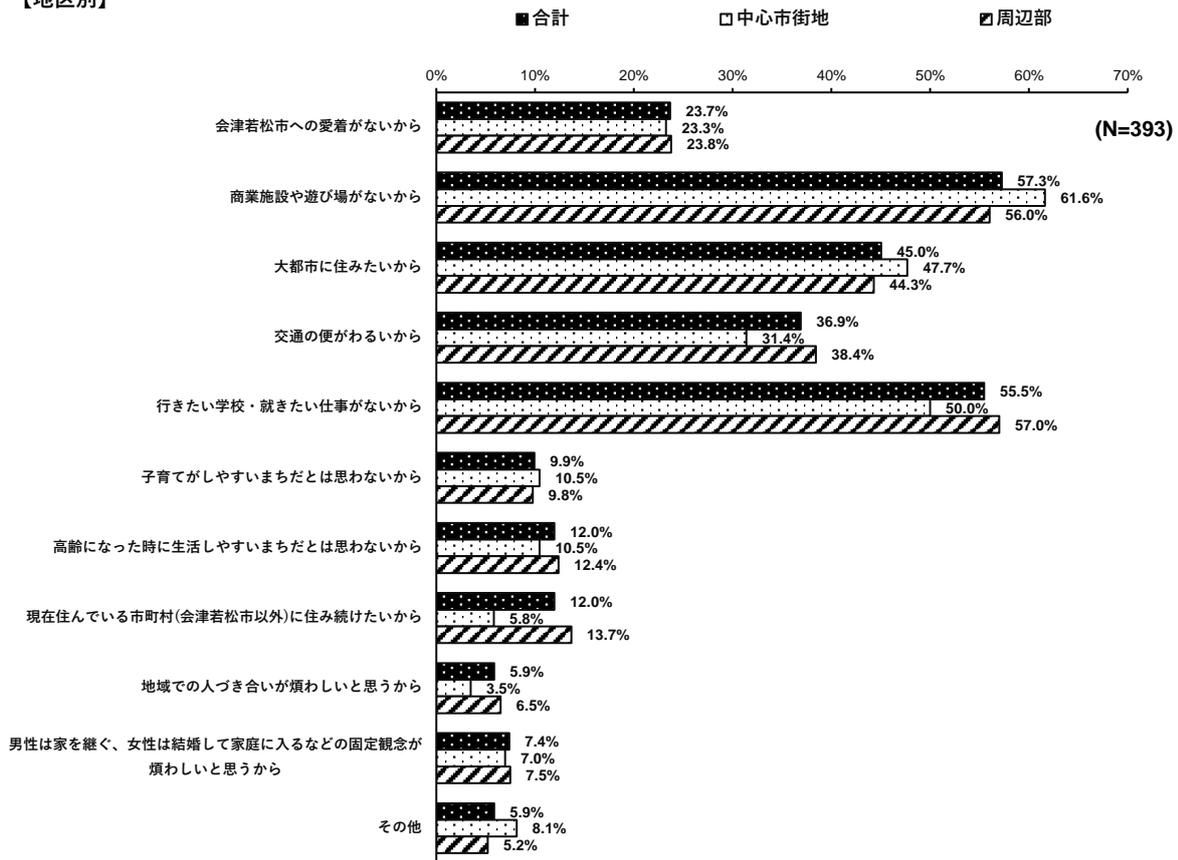
18. 会津若松市に戻りたくない理由

「商業施設や遊び場がないから」が57.5%と最も高く、次いで「行きたい学校・就きたい仕事がないから」が55.5%、「大都市に住みたいから」が45.5%となっている。

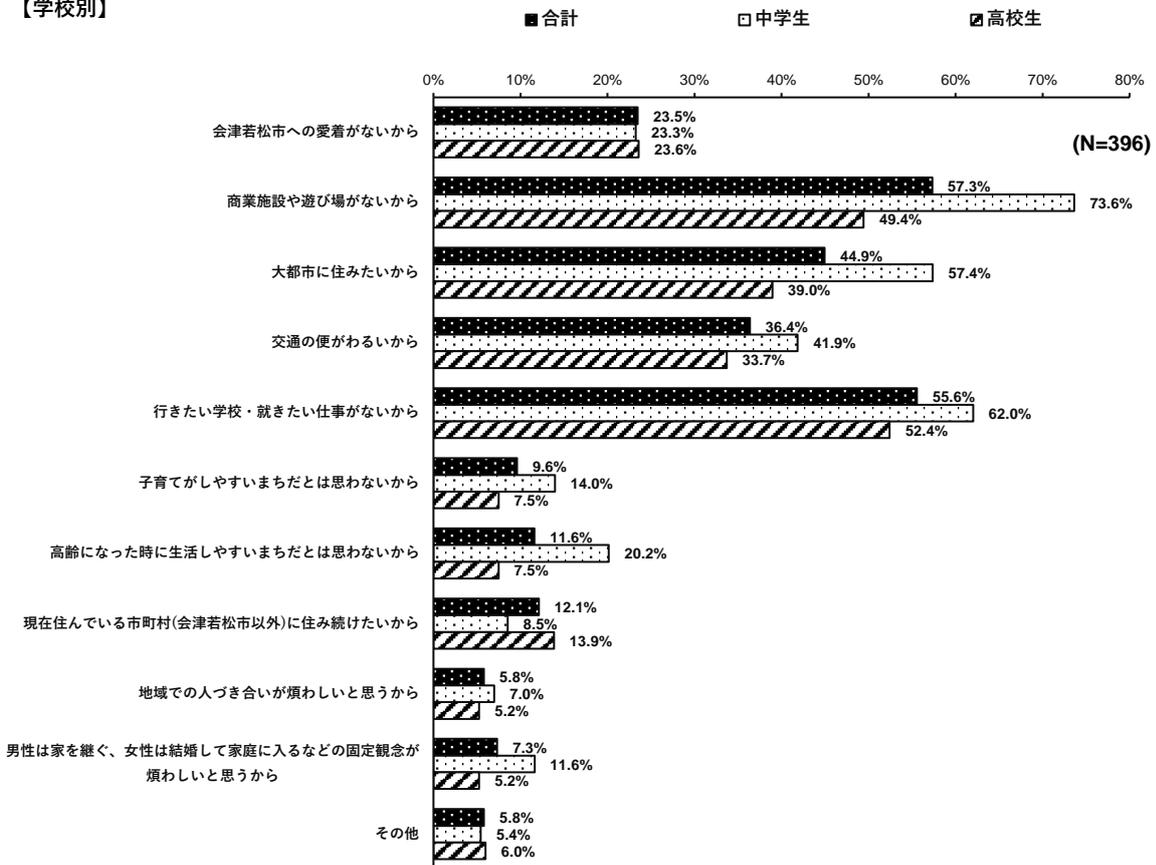
学校別にみたとき、中学校においては「商業施設や遊び場がないから」が7割を占める一方で、高等学校においては5割ほどとなった。



【地区別】



【学校別】



19. 平日の放課後や学校が休みの日の居場所づくりへの意見（一部抜粋）

【学校生活（勉強・部活動）について】

- ・グローバル的で、容姿に校則がない、自由な学校で教育を受けたい。
- ・外国でも会話がスラスラとスムーズに話すことができるように英語教育を進めてほしいです。
- ・休日に学校の図書館を利用できるようにしてほしい。
- ・教師のペースでむりくり進められて、生徒にストレスや負担がかかりすぎないような教育を受けたい。
- ・好きな部分を伸ばせる教育を受けたい。
- ・行きたい大学に進学できるような学力を身につけられる教育。
- ・自由な教育を受けたい。例えば、課題は学校に課されるものではなく、自分で発見して自分で勉強をたくさんしたい。
- ・PCがいつでも使える環境やプログラミングを学べる(誰でも)施設づくりなど、「これから！」の世代に合った環境、居場所があれば良いと思う。
- ・勉強などを一人ひとりしっかり向き合い、わかるまで指導してくれる教育。
- ・自分や友人たちの将来の夢に役立つような教育や体験を受けてみたい。
- ・生徒一人一人に合った教育、施設が十分充実している町になった方が良いと思う。
- ・アントレプレナーシップ教育に力を注ぎ、地域課題、国の課題の解決策を立案できる人材を増やせる教育をしたい。

【遊び場・体を動かせる場所・娯楽施設について】

- ・学生がいつでも気軽に利用できるフリースペースがほしい。
- ・市外に比べるとアミューズメント施設や気軽に出かけられるような所が少なく、あまり栄えている印象を受けないため、そういう所があると良いと思う。
- ・遊ぶ時、わざわざ市外に行かなくても満足できるような施設をもっと増やして欲しい。
- ・学校が休みの日にラウンドワンみたいな体を動かせるところがほしい。
- ・中高生が運動できる場所を作って欲しい。現在ある体育館は保護者がいないと借りることができず、利用しにくい。
- ・ボールを使っていい公園が一つもない。
- ・小・中・高の人たちが気軽に行ける場所。
- ・若い人達が少しでも地元に残ってくれるような施設づくり(映画館、ショッピングモールなど)。
- ・商業施設や映画館の誘致。
- ・気軽に行けて勉強ができるカフェ。

【どんなまちにしたいか】

- ・体験型の施設、音楽やラジオが流れる通り。
- ・街灯がたくさんあって、スポーツできる場所であふれている町になってほしい。
- ・お店がたくさん並ぶような活気があふれる街がいいなと思った。ボランティア活動やイベントを積極的に行っているような街もいいなと思った。
- ・障がいのある人にも優しい町、障がいのある人にも仕事がある町。
- ・観光客向けでなく、市民が住みやすい町をつくってほしい。神明通りに高校生向けの店がないのでいようがない。
- ・会津若松は歴史や伝統文化が広く、ICT 関係もやっているので歴史を守りながら発展していけるといいなと思います。
- ・会津若松市は人口減少が加速していて、市街地から商業施設などがどんどんなくなってきているので、もっと住みやすい街にしてほしい。
- ・自分の人生のステージとなる場所であってほしい。明るい雰囲気居場所があると感じられる街。
- ・どんな年代の人々も安全に楽しく生活できる町。
- ・今まで会津若松が大切にしてきた武士道や哲学を受け継いでいくとともに、最先端の技術を大いに活用した住みやすい町にしたいです。教育を重視する町にしたいです。
- ・会津若松市をもっと活気あふれる場所にしたいです。
- ・楽しくみんなと笑い合って、明るく過ごせるような町にしたい！
- ・活性化してほしい。子どもから高齢者まで住みやすい町にしてほしい。
- ・全世代が利用しやすい商業施設がある町。
- ・若者や子どもたちが、のびのびと生活し、休みの日に思いっきり遊べる施設がある街になってほしい。高齢者も若い人も、だれもが過ごしやすい街になってほしい。公共交通機関の料金が安く、バスや電車での移動がしやすく、様々な施設へ買い物や遊びに行きやすくなってほしい。
- ・障がいのある人も自分らしく、豊かな人生を送ることができる街であってほしいと思います。
- ・会津若松市は「歴史」という最大な魅力があるのに、交通の便が悪いこと、若者が好きそうな施設が少なすぎる、駅周辺が暗いので、交通の便を改善したり、施設をつくったり、さらには高齢者や学生、子どもなどが立ち寄れる自然がいっぱいの公園をつくったり、勉強ができる所をつくったりして、会津の歴史を楽しみながら買い物したり、ゆっくりできる町にしてほしい。
- ・とにかく道が狭いところが多く、自転車は車道を走ると言われても車道を走行したらひかれてしまうくらいなので、安全に過ごせる町にしたいです。
- ・交通機関が発達していて好きな場所に行きやすいまち。
- ・優しく育てやすい環境を作り家族団らんができる場所。
- ・僕が支援学校を卒業しても働くことができるまち。
- ・交通の便がよく、商業施設がたくさんある、住みやすい町にしてほしい。
- ・子育てしやすい商業施設や遊び場が沢山あるような町。楽しく教育が受けられるような場所。住みやすい楽しい町。

【交通の便について】

- ・電車の本数が少ないことで、気軽に利用できないことが不便です。人数の関係もあると思いますが…。
- ・新幹線通してください。

【進学、就職について】

- ・会津若松市にももっと進学できるような大学や専門学校をつくってほしい。
- ・大学や企業が増えれば会津に住みやすくなると思います。
- ・収入が高い就業先を増やしてください。
- ・将来、働きたいと思うところがないと、都市部へ行くしかないと思う。選択肢が少ない。

【子育てについて】

- ・子ども達が公園でできる遊びが限られていて、屋内で過ごすことが多くなったように思うので、もっと楽しく外で遊べるような公園・施設づくりをすることが大切だと思った。
- ・小さい子どもがのびのびと遊べる場所があるといいなと思います。(0歳から2歳くらい) 地域の人と、どの世代とも仲良くしたいなと思います。協調性や思いやりがある人になりたいです。
- ・会津若松は子育てしにくい。母と子が孤立しやすい。保育園にいくしか子育て支援はないし、他の地域みたいに無料で天気に左右されず自由に平日や休日に関係なく遊びに行ける施設がない。よって自分が子育てするなら会津から出てしたい。

【どんな人になりたいか】

- ・今後、私たちは大人になり、私たちが会津若松市を支える側となります。今まで支えてもらった分、自分にできることをたくさんやって、もっとよい会津若松市にしていけるように頑張りたいと思います。
- ・人の意見をしっかりと聞き、自分の意見も大切にできる、また困っている人に寄り添える大人になりたい。
- ・地元の良さや、歴史、教訓などを次世代へ伝えられる大人になりたいです。
- ・好きなことをやって仕事をしたい。自分で進んで行動できる大人になりたい。
- ・みんなと同じ教育を受けて就職し自由に暮らす大人になりたい。
- ・地域のために役に立つ大人になりたいです。
- ・人の気持ちが分かるようなやさしい大人になりたい。
- ・色々な人を明るく笑顔にできるような大人になりたい 誰にでも優しく、みんなに好かれるような人になりたい 困っている人をすぐに助けられる人になりたい 周りの人にながされず、自分の意見を言えるようになりたい みんなに尊敬されるような人になりたい 私のように不登校気味になってしまった人を笑顔にしたい 心を強くしたい(悪口を言われても、すぐに折れないような人になりたい)。

【その他】

- ・会津若松市は伝統ある歴史的なものがたくさんあり、すごく勉強になるが、高齢者から子どもまで楽しめる場所がとても少なく、お出かけに行くとなっても会津ではなく他の場所へ行くことになっている。周りを見てみると県外で会津ナンバーがとっても多く、やっぱり会津には何もないんだなと再確認する事になってしまった。会津がもっと賑やかな町にしたいなら、もっとみんなが安心して楽しめるような場所をつくってほしい。
- ・もし会津に戻ってくるとすれば、交通、施設、サービスが生活に必要な程度そろっていれば戻ってくる可能性があるがこのままだと厳しいと思う。
- ・あんまり発達しない、ほど良い田舎であってほしい。
- ・こんなアンケートをしても施設なんて作らないでしょ。
- ・行政の対応の悪さスピードの遅さ。子育てしづらい。給料賃金に対して物価家賃全てが見合わない。老人も多く古い固定観念が根付いていてよそ者を受け付けない所が発展しない。駅前が終わっている。
- ・会津若松市は観光地が多く、観光客もたくさん訪れる素敵な町だと思う。その分、不便なこともあるので、そこを改善してほしいと思っている。
- ・若者が今後住みたいと思うような施設や交通網が無いと、人口減少が進んでいるのだと思う。
- ・映画館、商業施設がないため、市外に行くことになる。そうすると住むところも市外を選ぶという考えになってしまうかもしれないです。
- ・歴史があつてとてもいい町だと思うから、もっと発展していいと思う。便利になれば人口減少を止めることができると思う。また、次の世代の学生たちが満足するような施設があれば将来、住む場所を考えるとまた戻ろうかなと思う気持ちが強くなると思う。